

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

【お客さま本位の業務運営】

山口フィナンシャルグループに おける主な取組状況 -2023年度-

2024.07.12

株式会社山口フィナンシャルグループ
株式会社山口銀行
株式会社もみじ銀行
株式会社北九州銀行
ワイエム証券株式会社
株式会社ワイエムライフプランニング
株式会社保険ひろば
ワイエムアセットマネジメント株式会社

1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通 K P I について

- ① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率
- ② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン
- ③ 外貨建保険の運用評価別顧客比率
- ④ 外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン

2. 投資信託に関する取組状況

- ① 商品ラインアップ
- ② 投資信託・積立投信の契約者数
- ③ 投資信託残高
- ④ グループ3銀行におけるカテゴリ別投資信託残高比率
- ⑤ ワイएमアセットマネジメント運用資産残高推移
- ⑥ グループ会社（ワイएमアセットマネジメント）の投資信託の販売比率
- ⑦ 毎月分配型投資信託の販売比率

3. 生命保険に関する取組状況

- ① 商品ラインアップ
- ② 生命保険保有契約件数（保険ひろば・ワイएमライフプランニング）

4. その他に関する取組状況

- ① F P 資格保有率（1級・2級）
- ② NISA口座開設数
- ③ アフターフォロー実施状況
- ④ 手数料に関するご説明
- ⑤ 利益相反管理方針
- ⑥ ご高齢のお客さまに対する募集
- ⑦ 重要情報シート
- ⑧ ポートフォリオ提案ツール及びコンサルティング支援ツールの活用
- ⑨ 一時払保険補完説明動画の活用
- ⑩ お客さま本位の業務運営に関するアクションプラン
- ⑪ リスク性金融商品に関する販売の方針

お客様の運用成果に関する共通KPI

ご購入いただいた投資信託・外貨建保険の運用成果の状況として、以下4点の指標を掲載します。

① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率

基準日時点の保有投資信託およびファンドラップにかかる購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標で、購入以降どの程度のリターンが生じているかを確認することができます。

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン

設定後5年以上の銘柄について、加重平均のコストとリターンおよびリスクとリターンの関係を示した指標で、金融事業者がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認することができます。

③ 外貨建保険の運用評価別顧客比率

基準日時点の外貨建保険にかかる購入時以降のリターンを算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標で、購入以降どの程度のリターンが生じているかを確認することができます。

④ 外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン

契約後5年以上保有している契約について、加重平均のコストとリターンの関係を示した指標で、金融事業者がどのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを確認することができます。

各用語の解説

<投資信託関連指標>

- ※ 運用損益 : $(\text{基準日時点の評価金額} + \text{税引後累計受取分配金額} + \text{累計売付金額} - \text{累計買付金額} (\text{含む消費税込の販売手数料})) \div \text{基準日時点の評価金額}$
- ※ コスト : 当該投資信託を5年間保有した場合の年平均コスト
- ※ リスク : 当該投資信託を5年間保有した場合の年平均リスク (収益分配金考慮後)
- ※ リターン : 当該投資信託を5年間保有した場合の年平均リターン (収益分配金考慮後)

<外貨建保険関連指標>

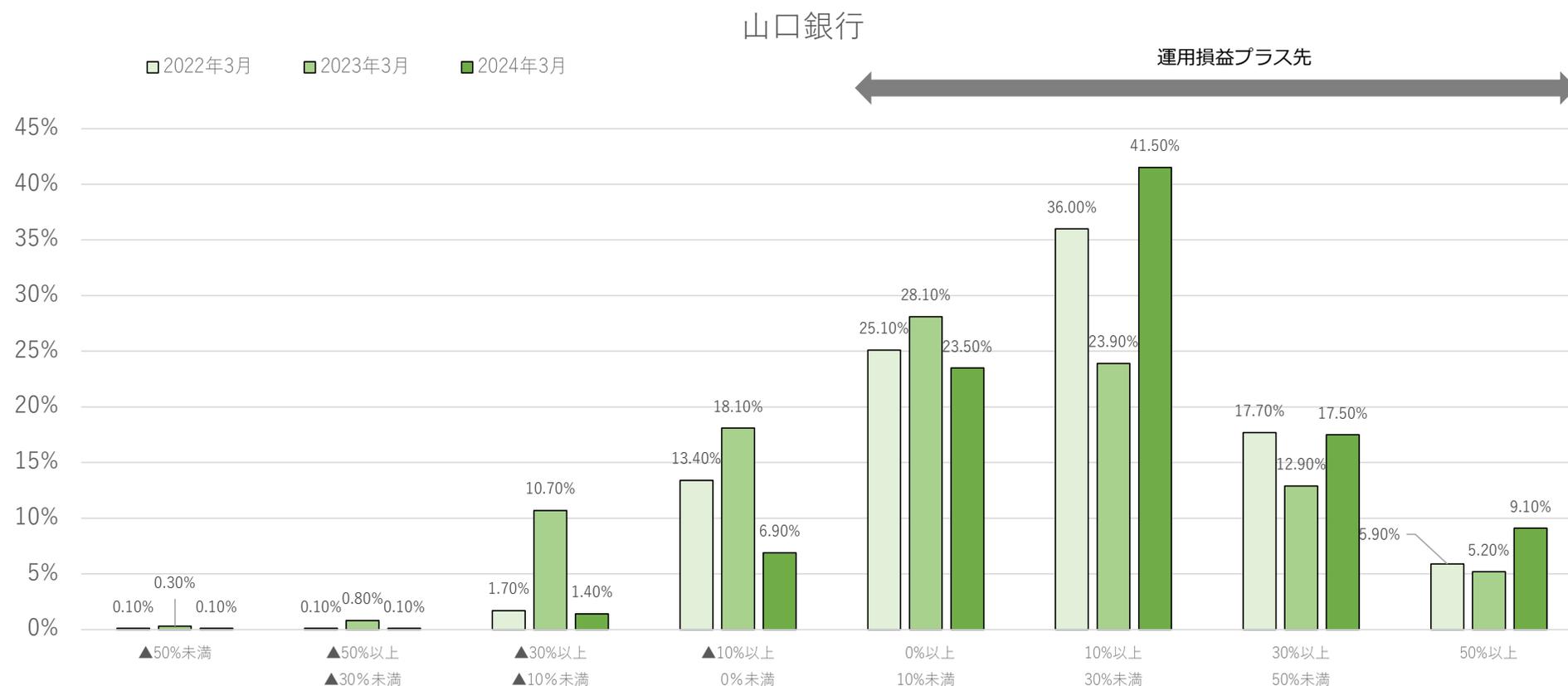
- ※ 運用評価 : $(\text{基準日の解約返戻金額} + \text{基準日の既支払金額} - \text{契約時点の一時払保険料 (いずれも円換算)}) \div \text{契約時点の一時払保険料 (円換算)}$
- ※ コスト : 基準日時点で5年以上保有している契約について、各契約の新契約手数料率と継続手数料率 (累計支払) の合計値を契約期間 (経過月数) で年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均した指標
- ※ リターン : 基準日時点で5年以上保有している契約について、各契約の契約時点の一時払保険料に対する、基準日時点の解約返戻金額 + 基準日までの既支払金額の増加率を年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均した指標

1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて



① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率（共通KPI）：山口銀行

- 2024年3月末時点で運用損益がプラスのお客さまは、全体の91.5%となっております。
※2023年3月末比：21.4%
- 2023年度は米国やユーロ圏で政策金利が据え置かれたのち、利下げ観測の強まりとともに市況が好転したこと等により、運用損益がプラスのお客さまの割合が増加しました。



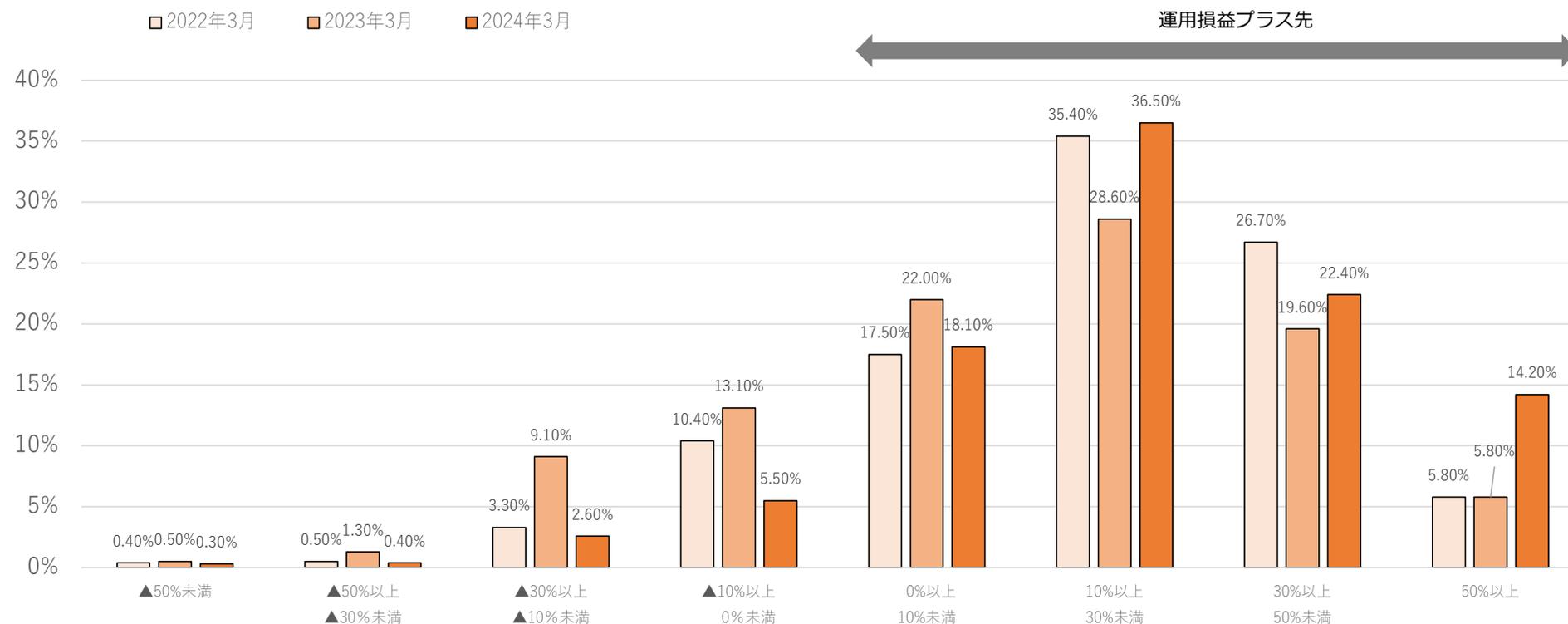
1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて



① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率（共通KPI）：もみじ銀行

- 2024年3月末時点で運用損益がプラスのお客さまは、全体の91.3%となっております。
※2023年3月末比：15.3%
- 2023年度は米国やユーロ圏で政策金利が据え置かれたのち、利下げ観測の強まりとともに市況が好転したこと等により、運用損益がプラスのお客さまの割合が増加しました。

もみじ銀行

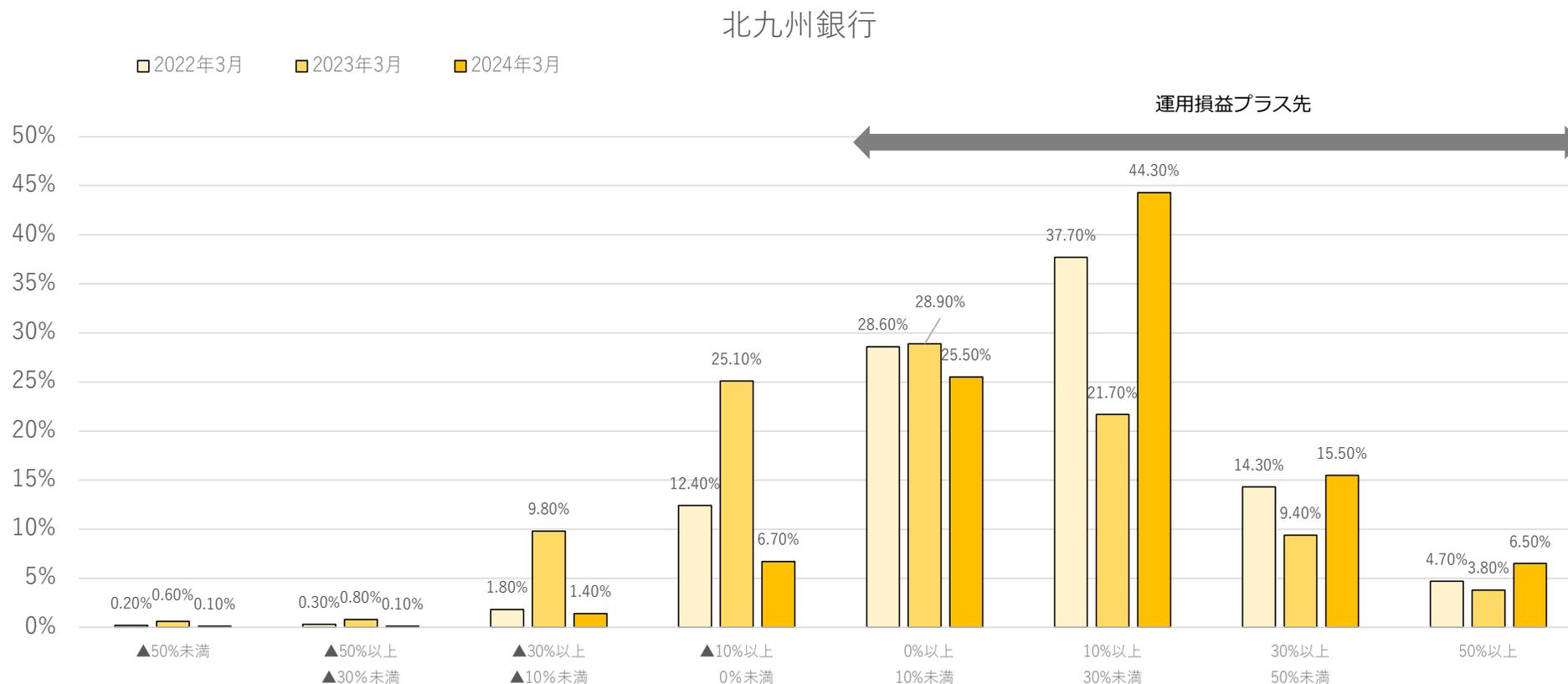


1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて



① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率（共通KPI）：北九州銀行

- 2024年3月末時点で運用損益がプラスのお客さまは、全体の91.8%となっております。
※2023年3月末比：28.0%
- 2023年度は米国やユーロ圏で政策金利が据え置かれたのち、利下げ観測の強まりとともに市況が好転したこと等により、運用損益がプラスのお客さまの割合が増加しました。

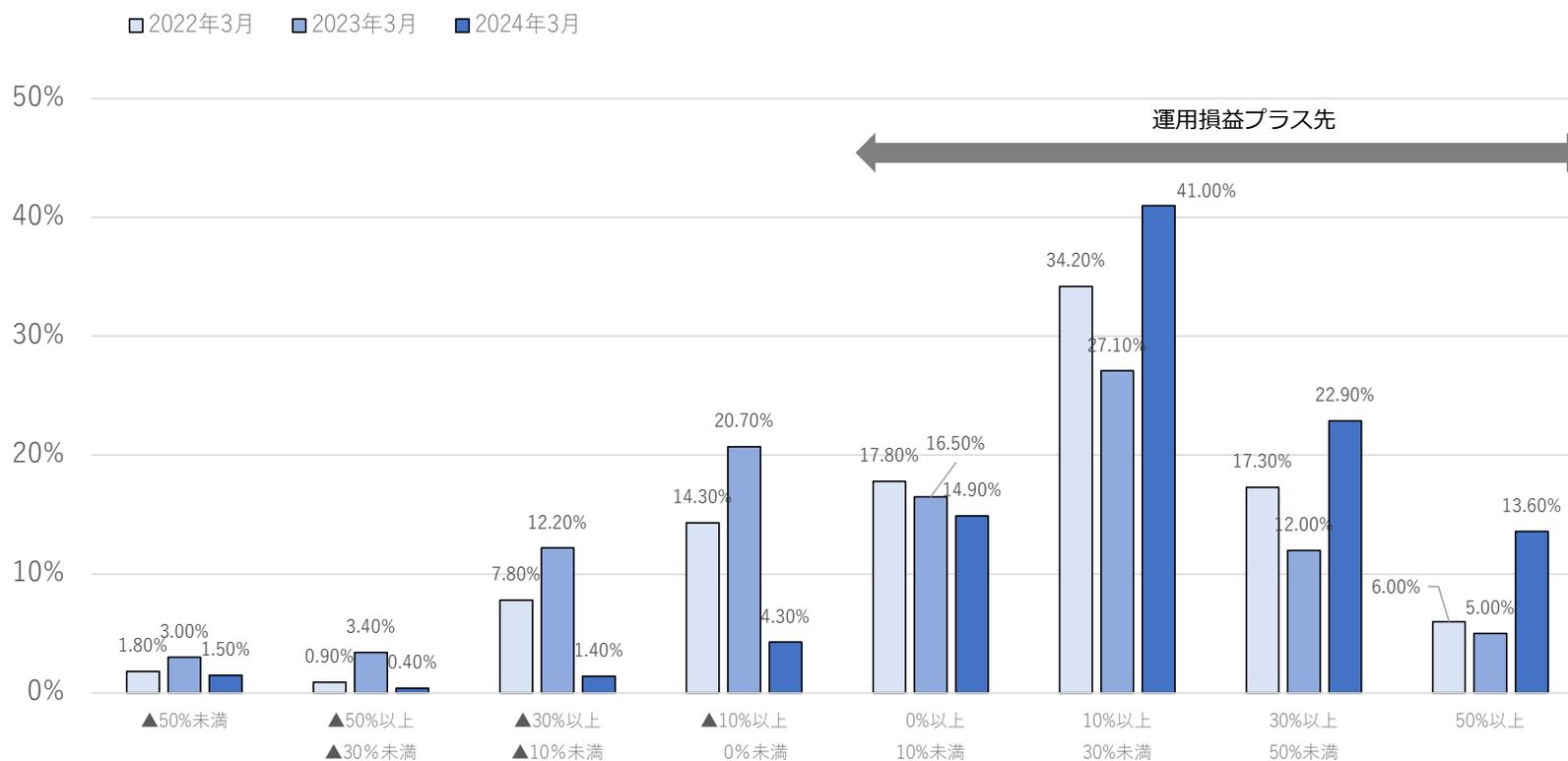


1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて

① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率（共通KPI）：ワイエム証券（投資信託）

- 2024年3月末時点で運用損益がプラスのお客さまは、全体の92.4%となっております。
※2023年3月末比：31.8%
- 2023年度は米国やユーロ圏で政策金利が据え置かれたのち、利下げ観測の強まりとともに市況が好転したこと等により、運用損益がプラスのお客さまの割合が増加しました。

ワイエム証券（投資信託）

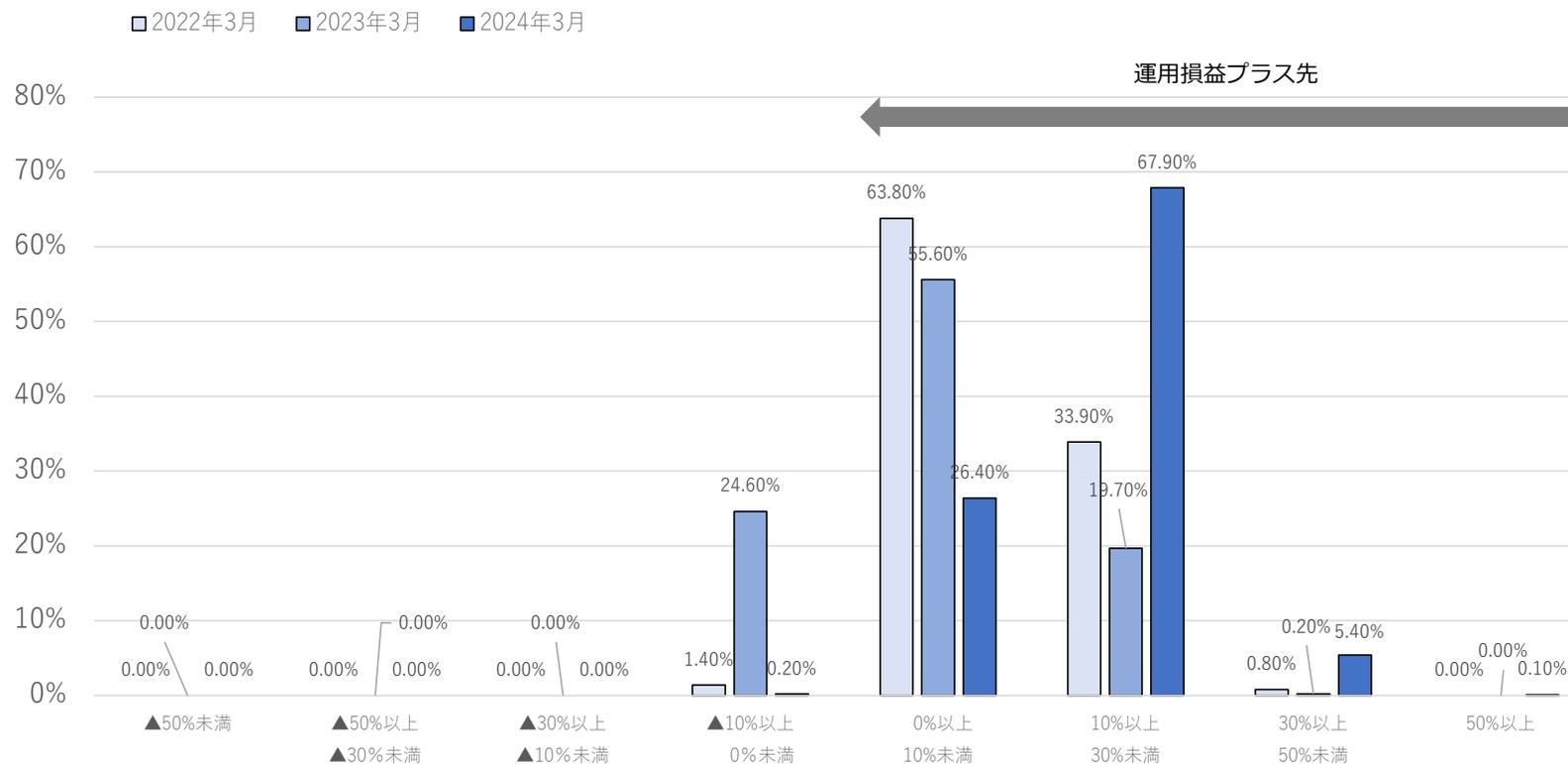


1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて

① 投資信託およびファンドラップの運用損益別顧客比率（共通KPI）：ワイエム証券（ファンドラップ）

- 2024年3月末時点で運用損益がプラスのお客さまは、全体の99.8%となっております。
※2023年3月末比：24.3%
- 2023年度は米国やユーロ圏で政策金利が据え置かれたのち、利下げ観測の強まりとともに市況が好転したこと等により、運用損益がプラスのお客さまの割合が増加しました。

ワイエム証券（ファンドラップ）



1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて

この世界で。
この街で。
このじぶん。



② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン（共通KPI）：山口銀行_2024年3月

- ▶ 2024年3月末時点でのコスト加重平均は1.6%、リスク加重平均は12.2%、リターン加重平均は7.7%となっております。
- ※2023年3月末比：コスト加重平均0.1%、リスク加重平均1.3%、リターン加重平均4.6%

順位	銘柄	運用会社	種類	残高 (百万円)	コスト	リスク	リターン
1	YMアセット・バランスファンド（成長タイプ）	ワイエムAM	バランス	8,090	2.0%	9.5%	2.3%
2	YMアセット・優良米国株ファンド	ワイエムAM	海外株式	2,179	2.0%	20.1%	18.9%
3	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	三菱UFJAM	海外債券	2,014	1.7%	5.5%	3.5%
4	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	大和AM	海外債券	1,965	1.7%	9.8%	4.1%
5	YMアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムAM	国内株式	1,727	1.8%	15.7%	15.7%
6	YMアセット・バランスファンド（安定タイプ）	ワイエムAM	バランス	1,596	1.4%	7.0%	▲1.6%
7	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	フィデリティ投信	REIT	1,588	2.0%	18.7%	10.5%
8	iFreeS&P500インデックス	大和AM	海外株式	1,122	0.2%	17.2%	22.1%
9	ダイワJ-REITオープン（毎月分配型）	大和AM	REIT	1,100	1.0%	15.2%	1.7%
10	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	日興AM	バランス	1,096	1.5%	9.2%	5.9%
11	ストックインデックスファンド225	大和AM	国内株式	906	0.7%	17.0%	15.4%
12	グローバル・ハイインカム・ストックファンド	野村AM	海外株式	757	1.7%	15.0%	15.7%
13	世界三資産バランス・ファンド（毎月分配型）	野村AM	バランス	669	1.7%	7.5%	7.1%
14	iFree日経225インデックス	大和AM	国内株式	664	0.2%	17.0%	15.8%
15	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	ピクテ・ジャパン	バランス	655	2.4%	5.2%	2.3%
16	iFree外国株式インデックス（為替ヘッジなし）	大和AM	海外株式	585	0.2%	17.2%	19.8%
17	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	561	2.4%	10.4%	10.4%
18	YMアセット・オーストラリア好配当資産ファンド	ワイエムAM	その他	545	1.5%	26.1%	8.9%
19	iFree8資産バランス	大和AM	バランス	543	0.2%	10.5%	8.3%
20	ダイワ・ライフ・バランス50	大和AM	バランス	541	0.2%	7.6%	8.3%
	残高加重平均				1.6%	12.2%	7.7%

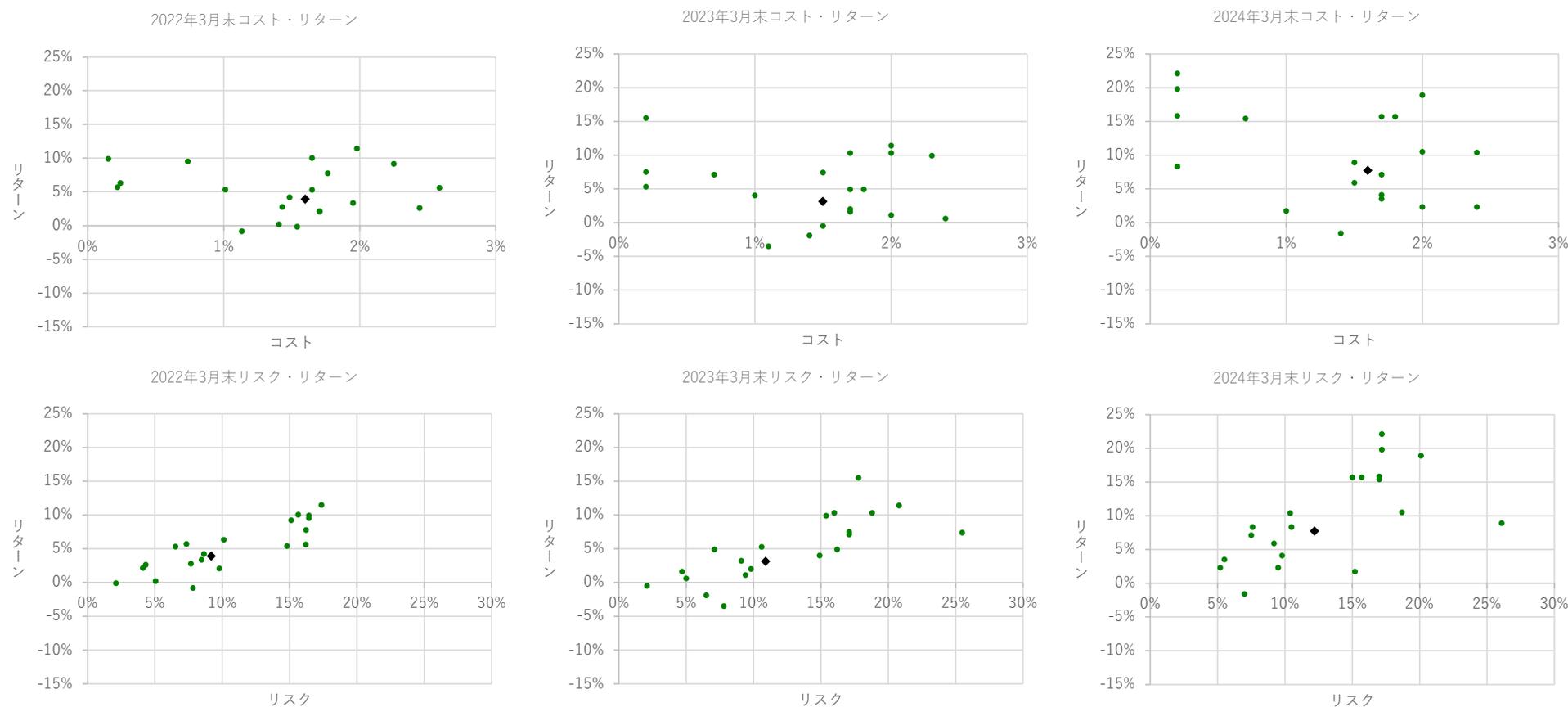
1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて

この世界で。
この街で。
このじぶん。



② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン（共通KPI）：山口銀行

- 2022年3月末～2024年3月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
- ※表内の◆が加重平均を表しています



1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて

この世界で。
この街で。
このじぶん。



② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン（共通KPI）：もみじ銀行_2024年3月

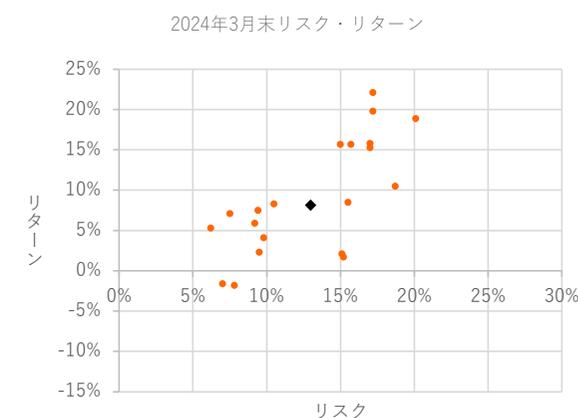
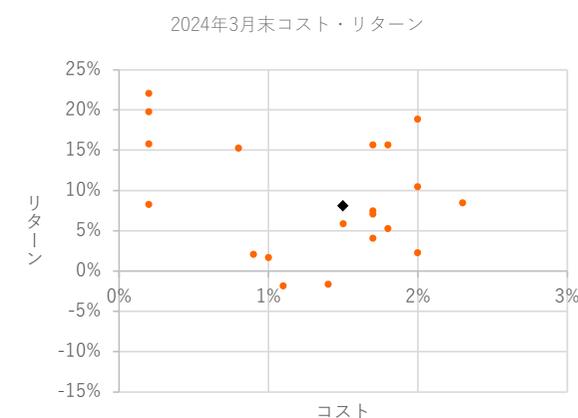
▶ 2024年3月末時点でのコスト加重平均は1.5%、リスク加重平均は13.0%、リターン加重平均は8.1%となっております。
※2023年3月末比：コスト加重平均±0.0%、リスク加重平均0.3%、リターン加重平均3.5%

順位	銘柄	運用会社	種類	残高 (百万円)	コスト	リスク	リターン
1	YMアセット・バランスファンド（成長タイプ）	ワイエムAM	バランス	5,909	2.0%	9.5%	2.3%
2	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	フィデリティ投信	REIT	2,249	2.0%	18.7%	10.5%
3	インデックスファンド225	日興AM	国内株式	1,380	0.8%	17.0%	15.3%
4	YMアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムAM	国内株式	1,361	1.8%	15.7%	15.7%
5	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	日興AM	バランス	1,277	1.5%	9.2%	5.9%
6	YMアセット・優良米国株ファンド	ワイエムAM	海外株式	1,231	2.0%	20.1%	18.9%
7	MHAMJ-REITインデックスファンド（毎月決算型）	AMOne	REIT	982	0.9%	15.1%	2.1%
8	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	大和AM	海外債券	901	1.7%	9.8%	4.1%
9	iFreeS&P500インデックス	大和AM	海外株式	814	0.2%	17.2%	22.1%
10	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	ピクテ・ジャパン	国内株式	799	2.3%	15.5%	8.5%
11	世界三資産バランス・ファンド（毎月分配型）	野村AM	バランス	702	1.7%	7.5%	7.1%
12	トレンド・アロケーション・オープン	三菱UFJAM	バランス	696	1.1%	7.8%	▲1.8%
13	ダイワJ-REITオープン（毎月分配型）	大和AM	REIT	635	1.0%	15.2%	1.7%
14	iFree日経225インデックス	大和AM	国内株式	590	0.2%	17.0%	15.8%
15	フランクリン・テンブルトン米国政府証券ファンド	フランクリン・テンブルトン・インベストメンツ	海外債券	537	1.8%	6.2%	5.3%
16	MHAM6資産バランスファンド	AMOne	バランス	504	1.7%	9.4%	7.5%
17	グローバル・ハイインカム・ストックファンド	野村AM	海外株式	441	1.7%	15.0%	15.7%
18	YMアセット・バランスファンド（安定タイプ）	ワイエムAM	バランス	391	1.4%	7.0%	▲1.6%
19	iFree8資産バランス	大和AM	バランス	388	0.2%	10.5%	8.3%
20	iFree外国株式インデックス（為替ヘッジなし）	大和AM	海外株式	378	0.2%	17.2%	19.8%
	残高加重平均				1.5%	13.0%	8.1%

1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン（共通KPI）：もみじ銀行

- 2022年3月末～2024年3月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
※表内の◆が加重平均を表しています



1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて



② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン（共通KPI）：北九州銀行_2024年3月

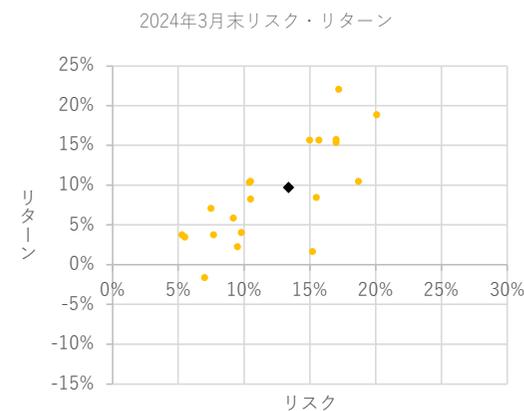
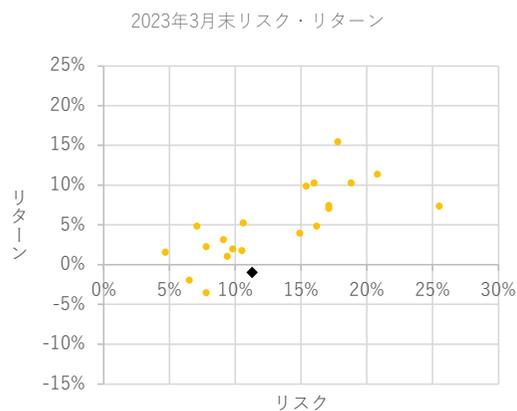
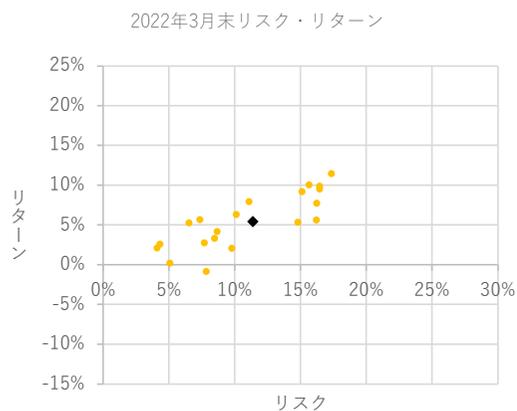
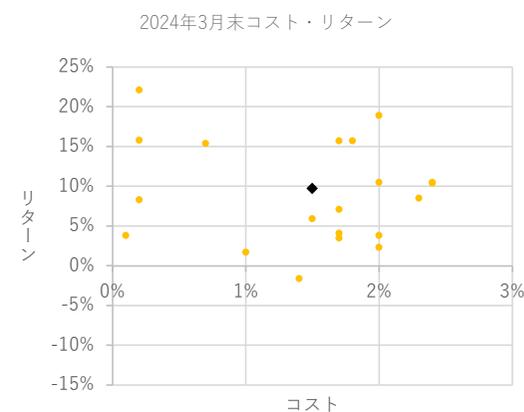
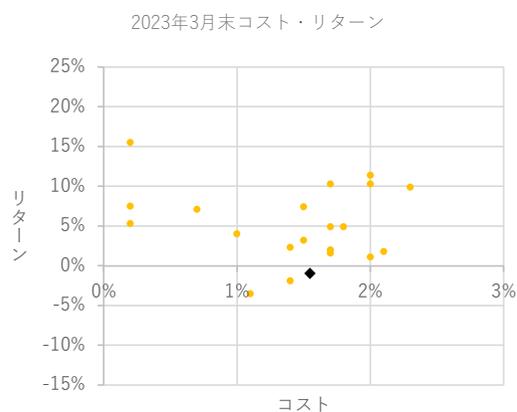
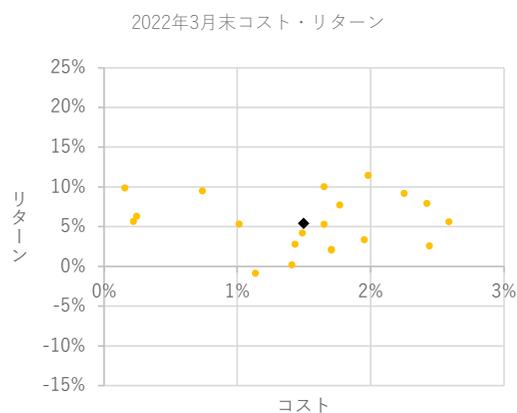
▶ 2024年3月末時点でのコスト加重平均は1.5%、リスク加重平均は13.4%、リターン加重平均は9.7%となっております。
 ※2023年3月末比：コスト加重平均±0.0%、リスク加重平均0.2%、リターン加重平均4.7%

順位	銘柄	運用会社	種類	残高 (百万円)	コスト	リスク	リターン
1	YMアセット・優良米国株ファンド	ワイエムAM	海外株式	543	2.0%	20.1%	18.9%
2	YMアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムAM	国内株式	385	1.8%	15.7%	15.7%
3	ダイワJ-REITオープン（毎月分配型）	大和AM	REIT	368	1.0%	15.2%	1.7%
4	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）	大和AM	海外債券	345	1.7%	9.8%	4.1%
5	ストックインデックスファンド225	大和AM	国内株式	320	0.7%	17.0%	15.4%
6	YMアセット・バランスファンド（成長タイプ）	ワイエムAM	バランス	297	2.0%	9.5%	2.3%
7	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	三菱UFJAM	海外債券	248	1.7%	5.5%	3.5%
8	YMアセット・バランスファンド（安定タイプ）	ワイエムAM	バランス	222	1.4%	7.0%	▲1.6%
9	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	フィデリティ投信	REIT	207	2.0%	18.7%	10.5%
10	グローバル・ハイインカム・ストックファンド	野村AM	海外株式	183	1.7%	15.0%	15.7%
11	iFreeS&P500インデックス	大和AM	海外株式	166	0.2%	17.2%	22.1%
12	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース（為替ヘッジなし）	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	166	2.4%	10.5%	10.5%
13	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	日興AM	バランス	141	1.5%	9.2%	5.9%
14	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	ピクテ・ジャパン	国内株式	119	2.3%	15.5%	8.5%
15	世界三資産バランス・ファンド（毎月分配型）	野村AM	バランス	117	1.7%	7.5%	7.1%
16	iFree日経225インデックス	大和AM	国内株式	112	0.2%	17.0%	15.8%
17	iFree8資産バランス	大和AM	バランス	104	0.2%	10.5%	8.3%
18	人生100年時代・世界分散ファンド（3%目標受取型）	ピクテ・ジャパン	バランス	81	2.0%	7.7%	3.8%
19	eMAXIS Slim 全世界株式（オール・カントリー）	三菱UFJAM	海外株式	75	0.1%	5.3%	3.8%
20	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	75	2.4%	10.4%	10.4%
	残高加重平均				1.5%	13.4%	9.7%

1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて

② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン（共通KPI）：北九州銀行

- 2022年3月末～2024年3月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
- ※表内の◆が加重平均を表しています



1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて



② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン（共通KPI）：ワイエム証券_2024年3月

▶ 2024年3月末時点でのコスト加重平均は2.4%、リスク加重平均は15.9%、リターン加重平均は10.1%となっております。
 ※2023年3月末比：コスト加重平均0.1%、リスク加重平均▲0.1%、リターン加重平均3.2%

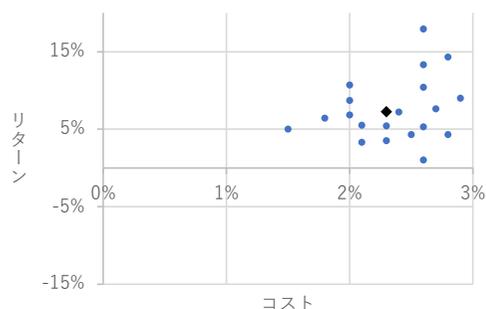
順位	銘柄	運用会社	種類	残高 (百万円)	コスト	リスク	リターン
1	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (毎月決算型)	インベスコAM	海外株式	20,413	2.6%	14.3%	7.9%
2	ピクテ・バイオ医薬品ファンド (毎月決算型) 為替ヘッジなしコース	ピクテ・ジャパン	海外株式	9,082	2.8%	12.4%	6.4%
3	YMアセット・優良米国株ファンド	ワイエムAM	海外株式	7,762	2.0%	17.3%	12.1%
4	YMアセット・好配当日本株ファンド	ワイエムAM	国内株式	5,703	1.8%	14.2%	10.7%
5	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Dコース	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	5,190	2.4%	12.4%	12.4%
6	ラサール・グローバルREITファンド (毎月分配型)	日興AM	REIT	4,347	2.1%	15.5%	6.3%
7	netWIN GSテクノロジー株式ファンド B (ヘッジなし)	GSAM	海外株式	3,313	2.8%	18.9%	15.2%
8	J-REIT・リサーチ・オープン (毎月決算型)	三井住友トラストAM	REIT	2,883	1.5%	12.5%	2.8%
9	次世代通信関連 世界株式戦略ファンド	三井住友トラストAM	海外株式	2,671	2.5%	22.8%	14.2%
10	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース	アライアンス・バーンスタイン	海外株式	2,527	2.4%	16.8%	16.0%
11	BNYメロン・米国株式ダイナミック戦略ファンド	BNYメロン	海外株式	2,260	2.7%	13.4%	9.6%
12	T&Dインド中小型株ファンド	T&D	海外株式	2,157	2.7%	21.8%	12.6%
13	イーストスプリング・インド株式ファンド (3ヵ月決算型)	イーストスプリングインベストメンツ	海外株式	1,974	2.6%	21.1%	12.4%
14	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド (毎月分配型)	ピクテ・ジャパン	海外株式	1,964	2.3%	11.9%	5.9%
15	グローバルAIファンド	三井住友DSAM	海外株式	1,955	2.6%	27.4%	17.2%
16	イーストスプリング・インド株式オープン	イーストスプリングインベストメンツ	海外株式	1,896	2.6%	21.7%	13.1%
17	グローバル・ロボティクス株式ファンド (年2回決算型)	日興AM	海外株式	1,845	2.6%	15.9%	12.9%
18	グローバル・ロボティクス株式ファンド (1年決算型)	日興AM	海外株式	1,836	2.6%	21.0%	16.2%
19	アメリカン・ニュー・ステージ・オープン	三菱UFJAM	海外株式	1,822	2.9%	18.0%	10.8%
20	インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジなし> (年1回決算型)	インベスコAM	海外株式	1,688	2.6%	19.3%	13.0%
	残高加重平均				2.4%	15.9%	10.1%

1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて

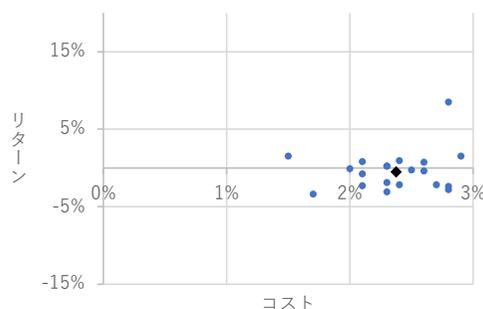
② 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターンおよびリスク・リターン（共通KPI）：ワイエム証券

- 2022年3月末～2024年3月末時点コスト・リターンおよびリスク・リターンの散布図は下記のとおりです。
※表内の◆が加重平均を表しています

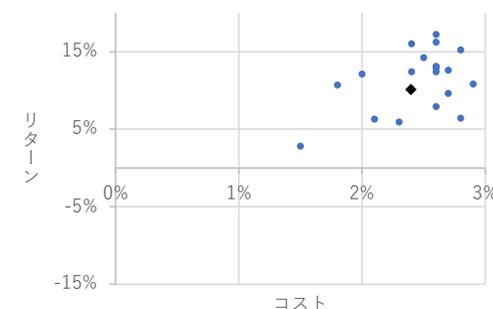
2022年3月末コスト・リターン



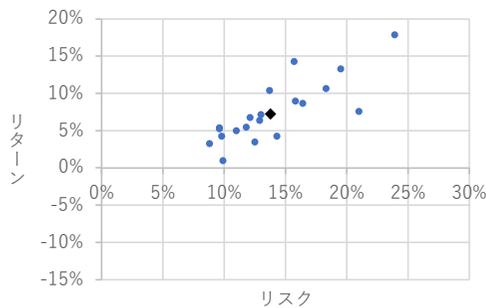
2023年3月末コスト・リターン



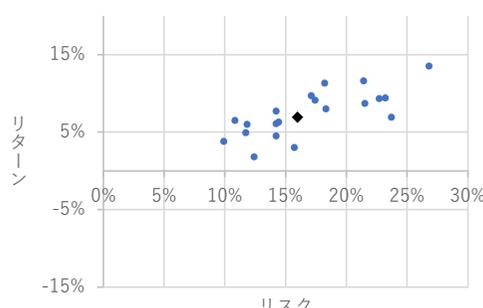
2024年3月末コスト・リターン



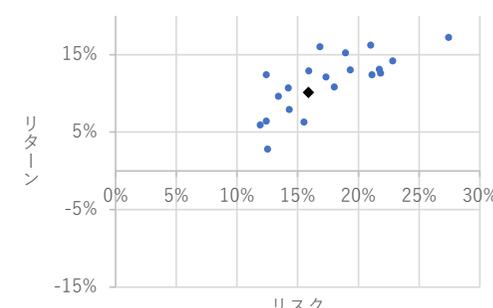
2022年3月末リスク・リターン



2023年3月末リスク・リターン



2024年3月末リスク・リターン



1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて

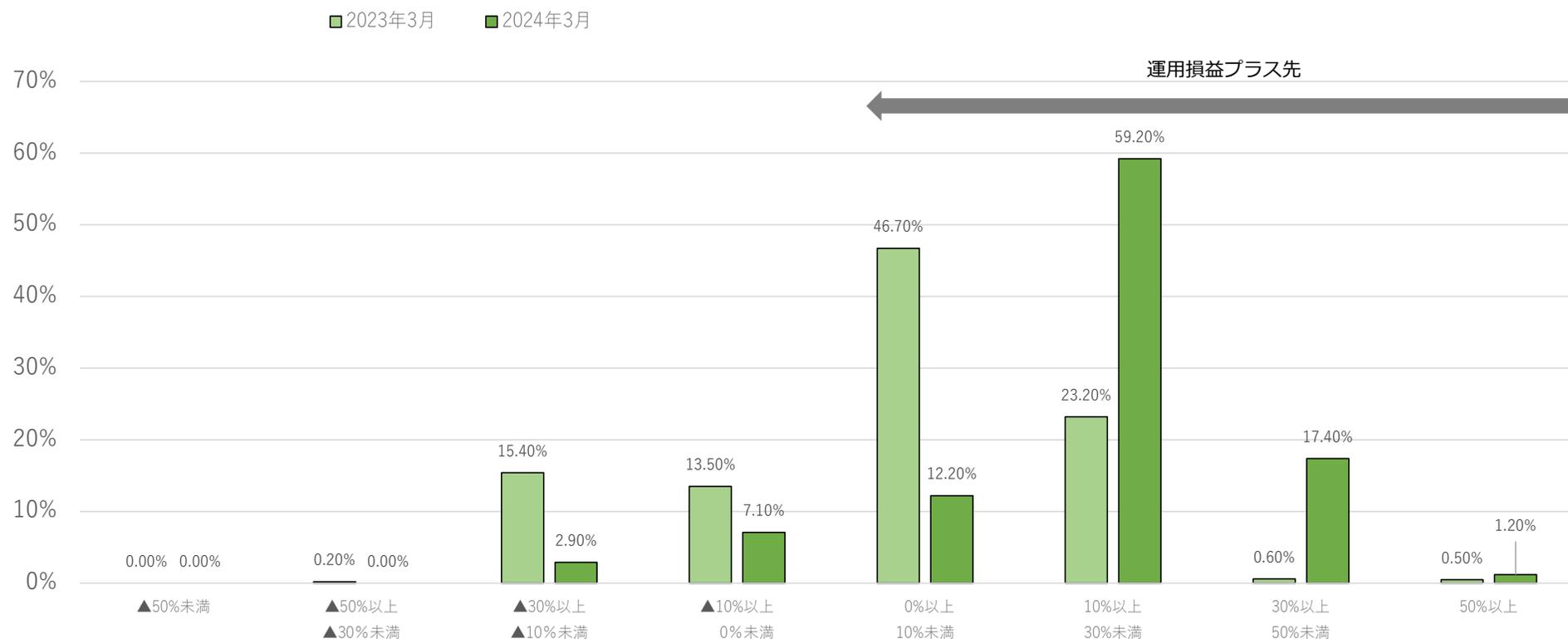
③ 外貨建保険の運用評価別顧客比率（共通KPI）：山口銀行

▶ 2024年3月末時点で運用損益がプラスのお客さまは、全体の89.9%となっております。

※2023年3月末比：19.0%

▶ 2023年度は米国の高金利政策の長期化観測や日銀の金融緩和継続を背景に円安ドル高が進行したこと等により、運用損益がプラスのお客さまの割合が増加しました。

山口銀行



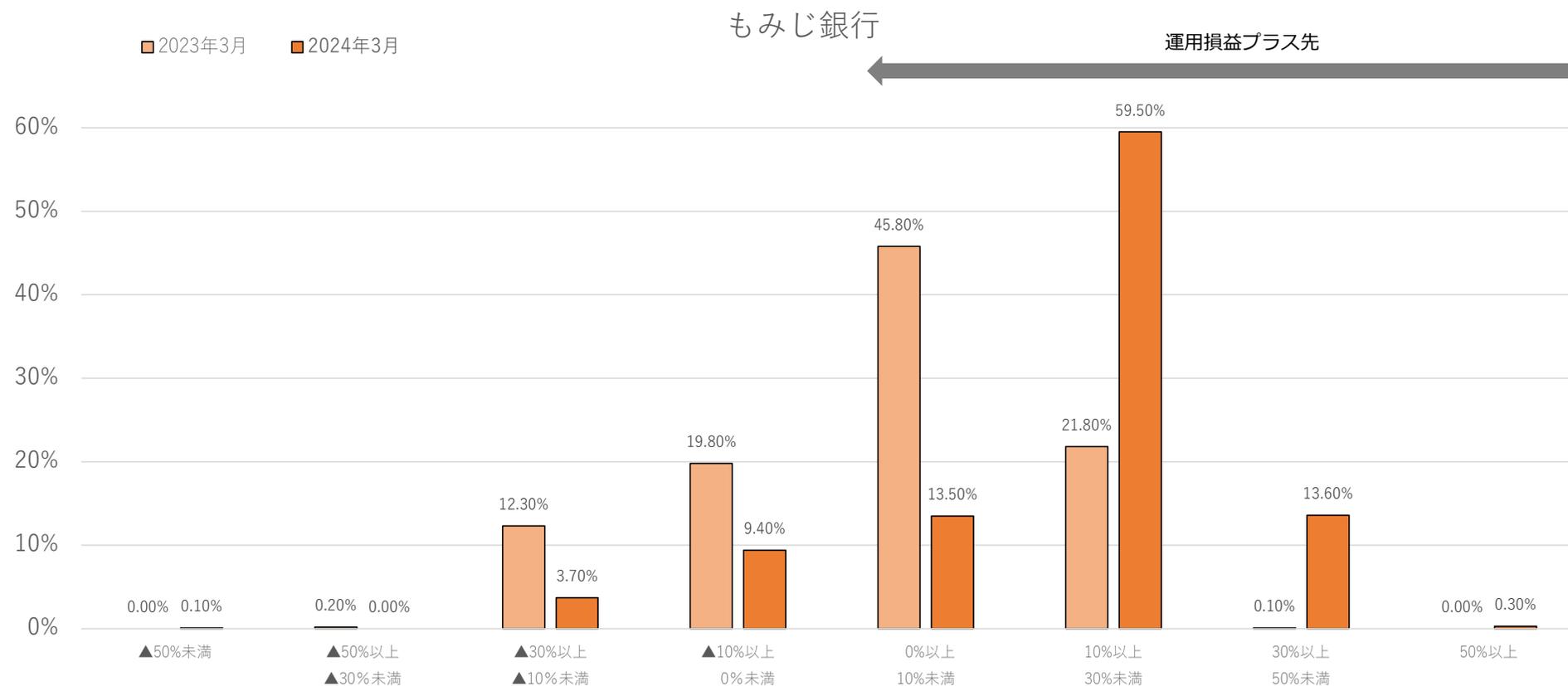
1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて

③ 外貨建保険の運用評価別顧客比率（共通KPI）：もみじ銀行

➤ 2024年3月末時点で運用損益がプラスのお客さまは、全体の86.8%となっております。

※2023年3月末比：19.1%

➤ 2023年度は米国の高金利政策の長期化観測や日銀の金融緩和継続を背景に円安ドル高が進行したこと等により、運用損益がプラスのお客さまの割合が増加しました。



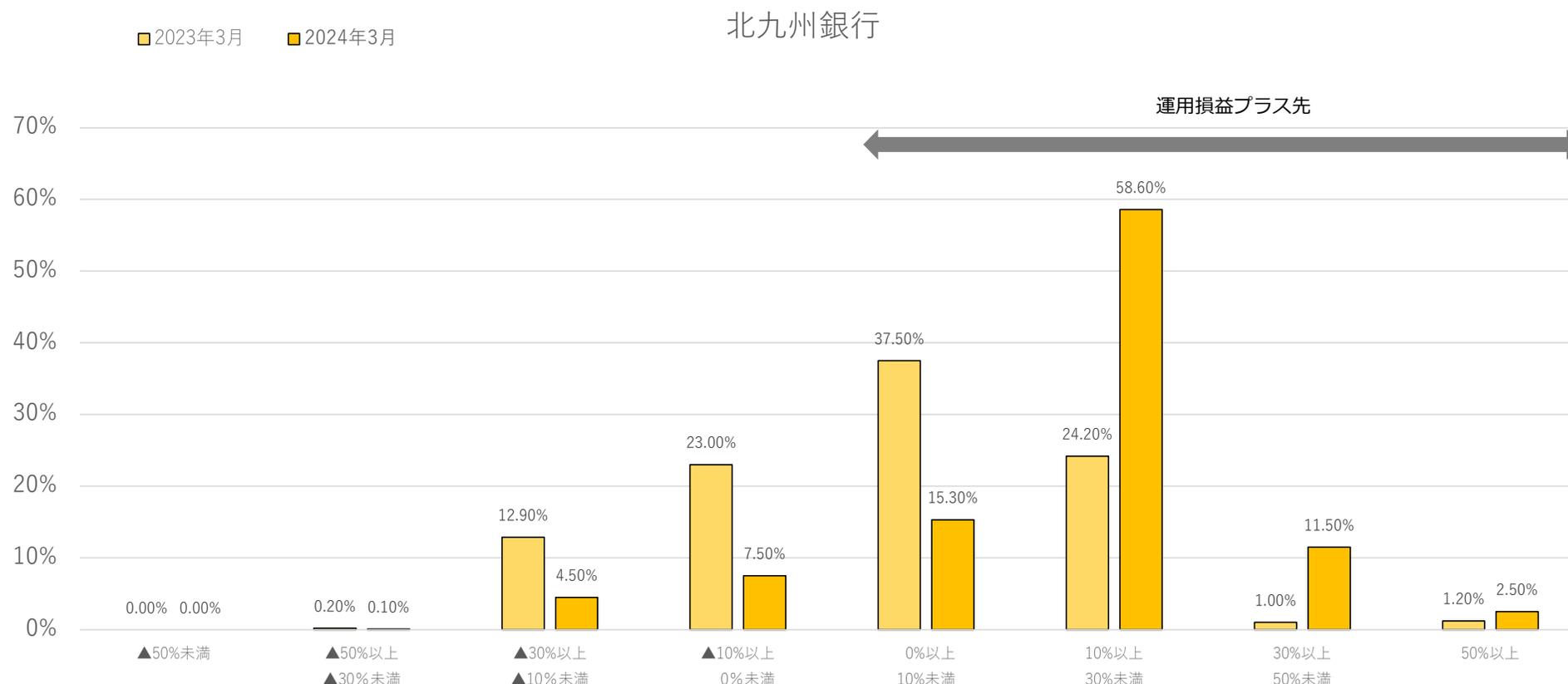
1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて

③ 外貨建保険の運用評価別顧客比率（共通KPI）：北九州銀行

➤ 2024年3月末時点で運用損益がプラスのお客さまは、全体の87.9%となっております。

※2023年3月末比：24.1%

➤ 2023年度は米国の高金利政策の長期化観測や日銀の金融緩和継続を背景に円安ドル高が進行したこと等により、運用損益がプラスのお客さまの割合が増加しました。



1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて



④ 外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン（共通KPI）：山口銀行

➤ 2024年3月末時点でのコスト加重平均は0.8%、リターン加重平均は2.8%となっております。
 ※2023年3月末比：コスト加重平均±0.0%、リターン加重平均+1.7%

順位	保険名称	残高 (百万円)	コスト	リターン
1	サニーガーデンEX	30,965	0.9%	3.0%
2	サニーガーデン	12,790	0.6%	2.3%
3	やさしさ、つなぐ	3,453	0.5%	0.8%
4	ビー ウィズ ユー プラス	1,462	1.1%	1.2%
5	ロングドリームGOLD2	1,494	1.0%	6.3%
6	しあわせ、ずっと	841	0.9%	2.8%
7	外貨建エブリバディプラス（豪ドル建）	703	1.1%	3.4%
8	ロングドリームGOLD	572	0.8%	3.0%
9	外貨建エブリバディプラス（米ドル建）	358	1.1%	7.0%
10	あしたの、よろこび	266	1.2%	1.9%
11	ビー ウィズ ユー（豪ドル建）	271	0.5%	1.9%
12	アップサイドプラス（豪ドル建）	158	1.2%	0.6%
13	シリウスデュアル	474	0.1%	3.4%
14	デュアルドリーム	119	1.5%	4.4%
15	ビー ウィズ ユー（USドル建）	129	0.5%	4.3%
16	ロングドリームプラス	73	0.6%	3.4%
17	シリウスハーモニー	69	0.1%	0.8%
18	シリウスプラス	62	0.1%	3.4%
19	たのしみグローバル（指数）	40	1.1%	8.3%
20	アップサイドプラス（米ドル建）	23	1.1%	3.0%
	残高加重平均		0.8%	2.8%

1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて



④ 外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン（共通KPI）：もみじ銀行

- 2024年3月末時点でのコスト加重平均は0.8%、リターン加重平均は2.7%となっております。
- ※2023年3月末比：コスト加重平均▲0.1%、リターン加重平均+1.7%

順位	保険名称	残高 (百万円)	コスト	リターン
1	サニーガーデンEX	14,881	0.9%	2.9%
2	サニーガーデン	3,537	0.6%	2.0%
3	プレミアレシーブ（外貨建）	2,186	0.8%	3.2%
4	やさしさ、つなぐ	1,106	0.6%	1.1%
5	ロングドリームGOLD2	1,071	1.1%	6.4%
6	アップサイドプラス（豪ドル建）	692	1.1%	0.3%
7	ビー ウィズ ユー プラス	640	1.1%	0.8%
8	プレミアストーリー	273	0.7%	1.3%
9	しあわせ、ずっと	239	0.9%	4.0%
10	あしたの、よろこび	183	1.2%	▲1.2%
11	プレミアジャンプ	184	0.8%	1.5%
12	プレミアストーリー2	144	0.8%	2.8%
13	外貨建エブリバディプラス（豪ドル建）	144	1.1%	3.3%
14	ロングドリームGOLD	109	0.8%	2.9%
15	プレミアカレンシー・プラス2	104	0.9%	3.6%
16	外貨建エブリバディプラス（米ドル建）	105	1.2%	7.0%
17	アップサイドプラス（米ドル建）	33	1.1%	1.3%
18	プレミアジャンプ3・年金（外貨建）	30	1.2%	0.6%
19	プレミアジャンプ・年金（外貨建）	27	0.9%	1.9%
20	プレミアジャンプ2・年金（外貨建）	21	1.0%	2.4%
	残高加重平均		0.8%	2.7%

1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて



④ 外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン（共通KPI）：北九州銀行

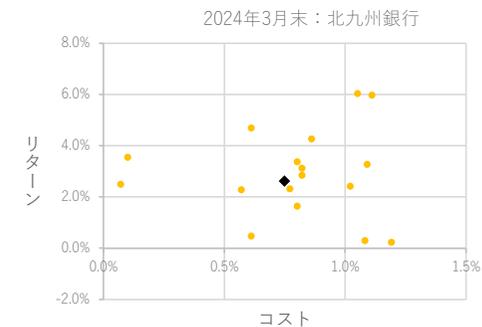
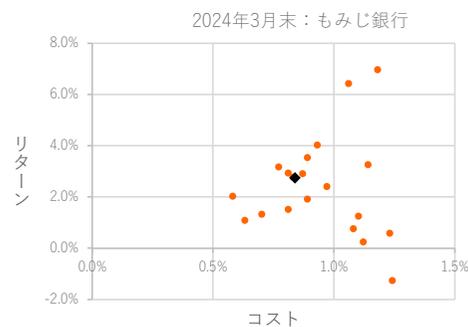
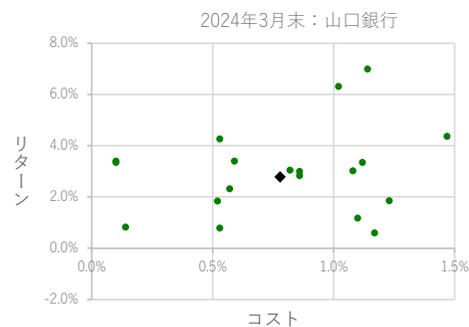
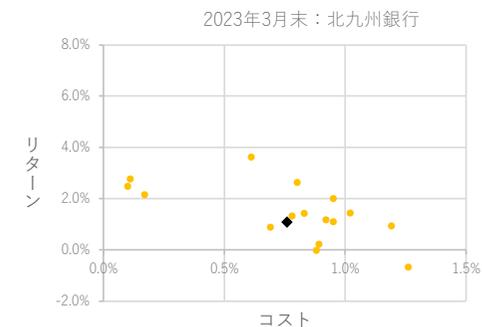
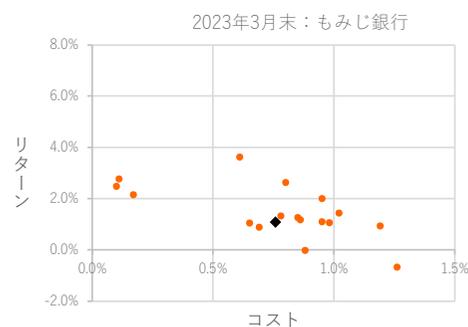
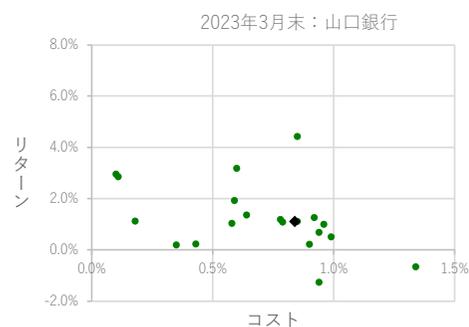
- 2024年3月末時点でのコスト加重平均は0.7%、リターン加重平均は2.6%となっております。
- ※2023年3月末比：コスト加重平均▲0.1%、リターン加重平均+1.5%

順位	保険名称	残高 (百万円)	コスト	リターン
1	サニーガーデンEX	1,694	0.8%	2.8%
2	サニーガーデン	1,014	0.6%	2.3%
3	やさしさ、つなぐ	184	0.6%	0.5%
4	アップサイドプラス（豪ドル建）	79	1.2%	0.2%
5	プレミアレシーブ（外貨建）	82	0.9%	4.3%
6	外貨建エブリバディプラス（豪ドル建）	75	1.1%	3.3%
7	ロングドリームGOLD2	81	1.0%	6.0%
8	ビー ウィズ ユー プラス	56	1.1%	0.3%
9	ロングドリームGOLD	68	0.8%	3.1%
10	プレミアジャンプ	47	0.8%	1.7%
11	しあわせ、ずっと	45	0.8%	2.3%
12	シリウスデュアル	73	0.1%	3.6%
13	外貨建エブリバディプラス（米ドル建）	33	1.1%	6.0%
14	あしたの、よろこび	13	1.2%	▲2.7%
15	ビー ウィズ ユー（USドル建）	16	0.6%	4.7%
16	プレミアストーリー2	6	0.8%	3.4%
17	たのしみグローバル（指数）	5	1.1%	9.4%
18	シリウスプラス	3	0.1%	2.5%
19	プレミアジャンプ2・年金（外貨建）	1	1.0%	2.4%
20				
	残高加重平均		0.7%	2.6%

1. 投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて

④ 外貨建保険残高上位20商品のコスト・リターン（共通KPI）

- 2023年・2024年3月末時点のコスト・リターンの散布図は下記のとおりです。
- ※表内の◆が加重平均を表しています



※外貨建保険は保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われます。解約時には解約返戻金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払保険料を下回る場合が多くあります。

※解約返戻金は基準日時点の為替レートで円貨換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

2. 投資信託に関する取組状況

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

① 商品ラインアップ

- ▶ 多様なお客さまの目的・資産状況・リスク許容度等に応じた様々なニーズにお応えするため、投資信託ラインアップを随時見直し、お客さまの最善の利益の実現に努めてまいります。
- ▶ グループ3銀行においては不足するカテゴリおよびNISA対象商品を中心に13銘柄を新規導入、ワイエム証券においては14銘柄を新規導入し、併せて32本の銘柄を販売停止する等、ラインアップの整備を行っております。

事業体別・カテゴリ別ラインアップ（2024年3月末時点）※1

	山口銀行				もみじ銀行				北九州銀行				ワイエム証券			
	取扱商品		NISA対象商品		取扱商品		NISA対象商品		取扱商品		NISA対象商品		取扱商品		NISA対象商品	
	商品数	比率	商品数	比率(※2)	商品数	比率	商品数	比率(※2)	商品数	比率	商品数	比率(※2)	商品数	比率	商品数	比率(※2)
国内株式	12	12.2%	11	91.7%	11	11.1%	10	90.9%	12	12.2%	11	91.7%	35	12.2%	22	62.9%
海外株式	31	31.6%	24	77.4%	31	31.3%	24	77.4%	31	31.6%	24	77.4%	107	37.2%	79	73.8%
国内債券	3	3.1%	2	66.7%	3	3.0%	2	66.7%	3	3.1%	2	66.7%	7	2.4%	4	57.1%
海外債券	12	12.2%	4	33.3%	12	12.1%	4	33.3%	12	12.2%	4	33.3%	61	21.2%	13	21.3%
REIT	12	12.2%	5	41.7%	12	12.1%	5	41.7%	12	12.2%	5	41.7%	26	9.0%	9	34.6%
バランス	25	25.5%	17	68.0%	27	27.3%	19	70.4%	25	25.5%	17	68.0%	45	15.6%	25	55.6%
その他	3	3.1%	3	100.0%	3	3.0%	3	100.0%	3	3.1%	3	100.0%	7	2.4%	4	57.1%
合計	98	100.0%	66	67.4%	99	100.0%	67	67.7%	98	100.0%	66	67.4%	288	100.0%	156	54.2%

※1インターネット専用商品除く

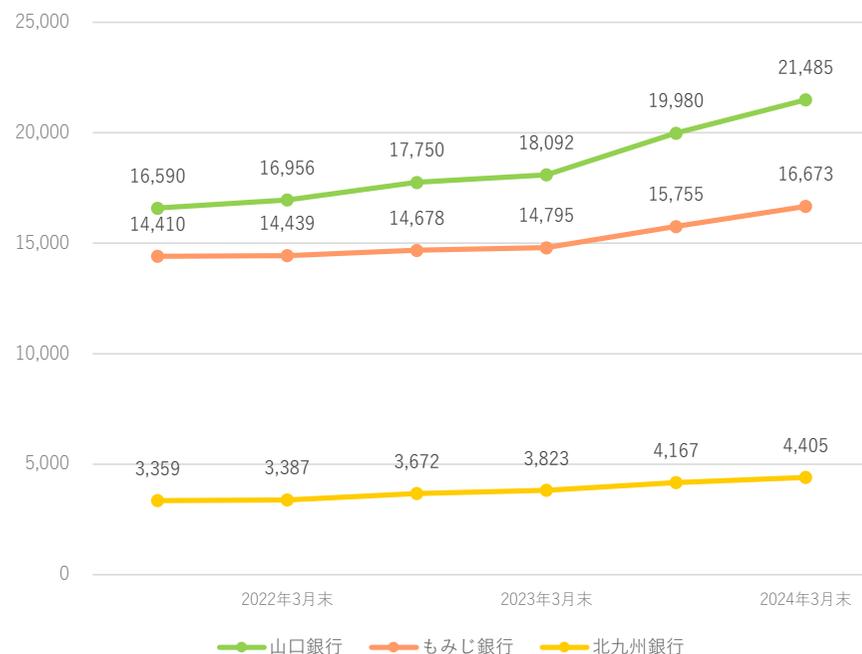
※2カテゴリ毎の取扱商品のうちNISA対象商品の比率

2. 投資信託に関する取組状況

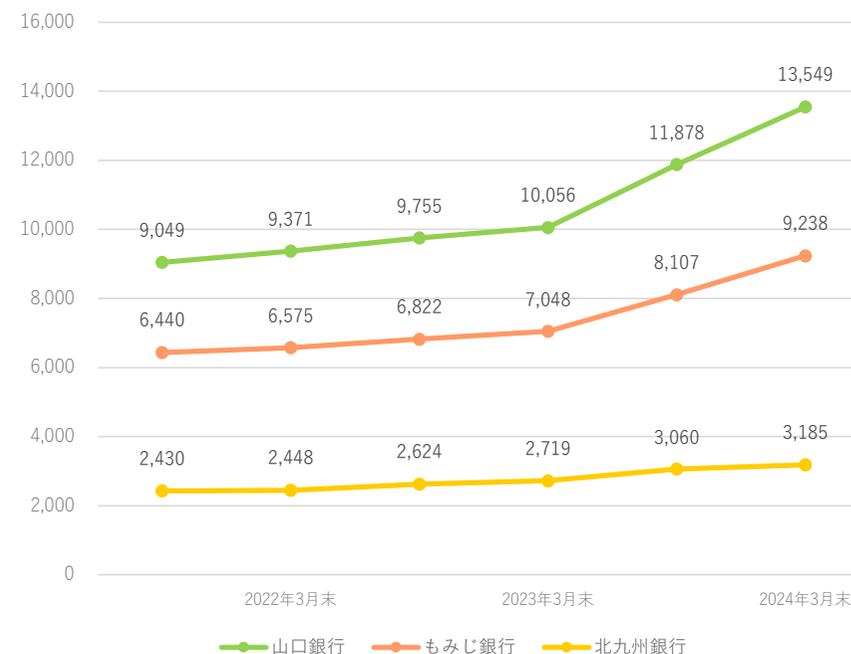
② 投資信託・積立投信の契約先数

- ▶ 長期積立分散投資の提案に努めた結果、契約先数は銀行全体では増加傾向にあります。今後もお客様のリスク許容度や資産状況等を確認のうえ、ポートフォリオ分析ツール等を活用して、複数商品を比較提示し最も適したプランを提案いたします。

投資信託契約先数



積立投資信託契約先数

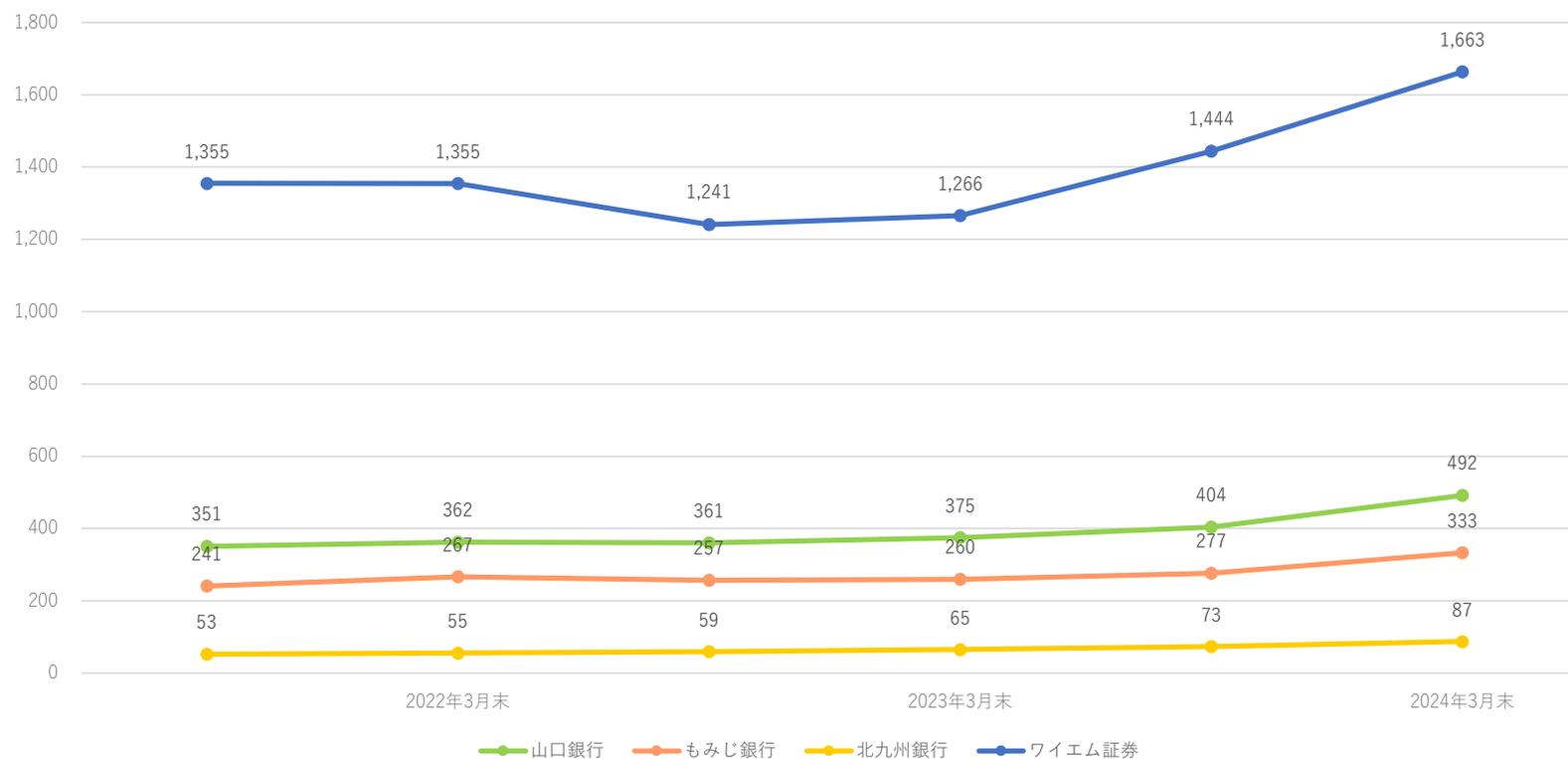


2. 投資信託に関する取組状況

③ 投資信託残高

- 市況環境の好転等もあり、残高は拡大傾向にあります。
今後もお客さまのリスク許容度や資産状況等を確認のうえポートフォリオ提案を行い、投資信託の残高を積み上げてまいります。

投資信託残高推移（億円）



2. 投資信託に関する取組状況

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

④ グループ3銀行におけるカテゴリ別投資信託残高比率

- グループ3銀行におけるカテゴリ別の投資信託残高比率は、一つのファンドで分散投資効果が得られるバランス型ファンドの比率が高くなっております。
- 特定のカテゴリに偏ることなく、お客さまのライフプランを踏まえた上で、適切なポートフォリオを形成できるよう提案してまいります。

山口銀行

	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
国内債券	0.05%	0.05%	0.04%
海外債券	13.99%	11.94%	10.97%
国内株式	8.37%	8.93%	10.59%
海外株式	23.73%	23.22%	26.95%
REIT	10.81%	8.25%	5.90%
バランス	41.00%	45.71%	44.96%
その他	2.05%	1.90%	0.58%

もみじ銀行

	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
国内債券	0.21%	0.21%	0.15%
海外債券	8.52%	7.64%	7.21%
国内株式	10.34%	11.11%	11.91%
海外株式	21.21%	21.16%	24.29%
REIT	20.29%	16.97%	12.41%
バランス	37.36%	40.89%	43.17%
その他	2.07%	2.02%	0.86%

北九州銀行

	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
国内債券	0.25%	0.22%	0.12%
海外債券	15.28%	10.96%	9.17%
国内株式	12.41%	11.98%	14.91%
海外株式	35.73%	30.96%	35.54%
REIT	12.37%	11.48%	7.49%
バランス	22.19%	31.92%	31.26%
その他	1.77%	2.48%	1.51%

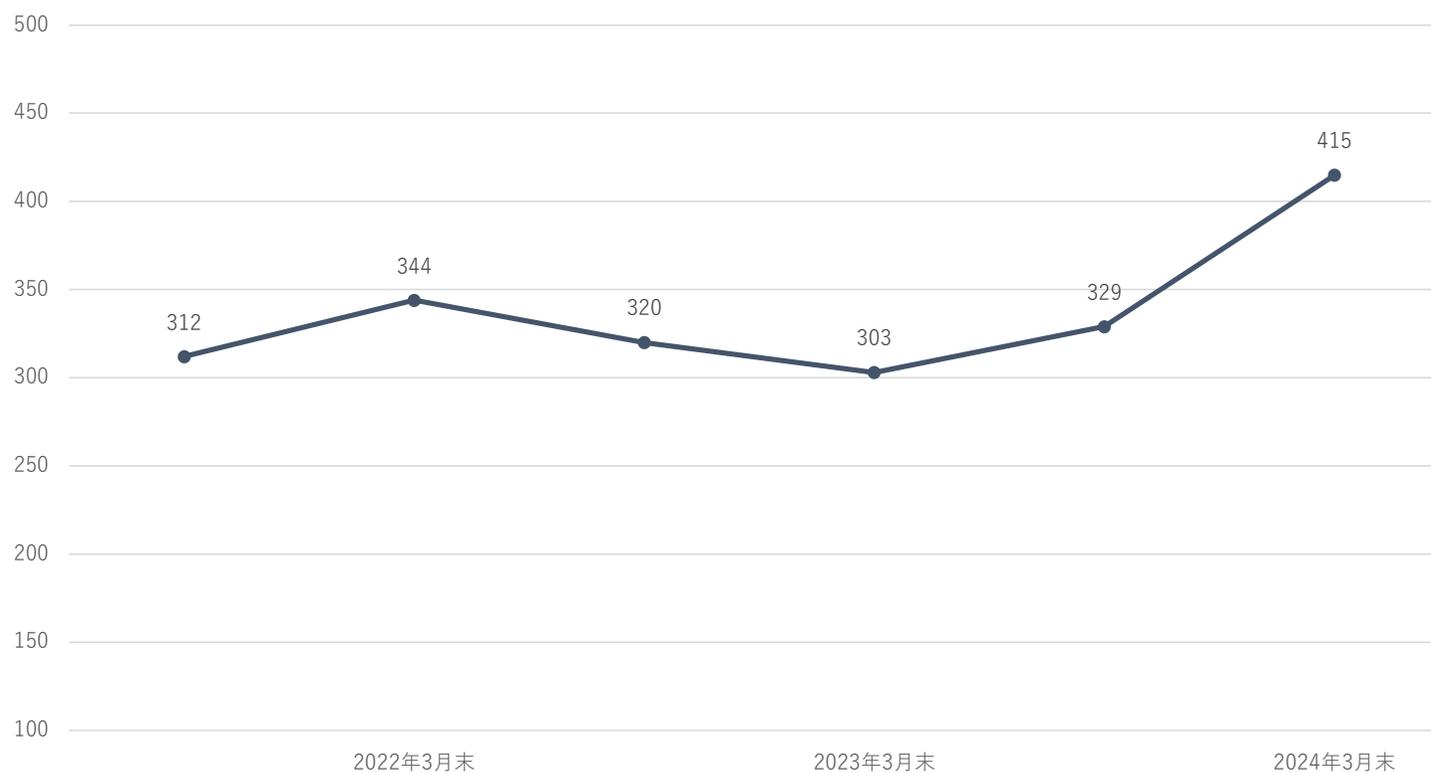
3行全体

	2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
国内債券	0.13%	0.13%	0.10%
海外債券	11.96%	10.25%	9.42%
国内株式	9.46%	10.02%	11.49%
海外株式	23.72%	23.18%	26.80%
REIT	14.63%	11.79%	8.43%
バランス	38.06%	42.63%	43.00%
その他	2.04%	2.00%	0.77%

⑤ グループ会社（ワイエムアセットマネジメント）の運用資産残高推移

- 2022年度は相場環境の影響もあり2021年度と比較して減少していましたが、2023年度は市況環境の好転等に後押しされ運用資産の残高は増加傾向にあります。

運用資産残高推移（億円）



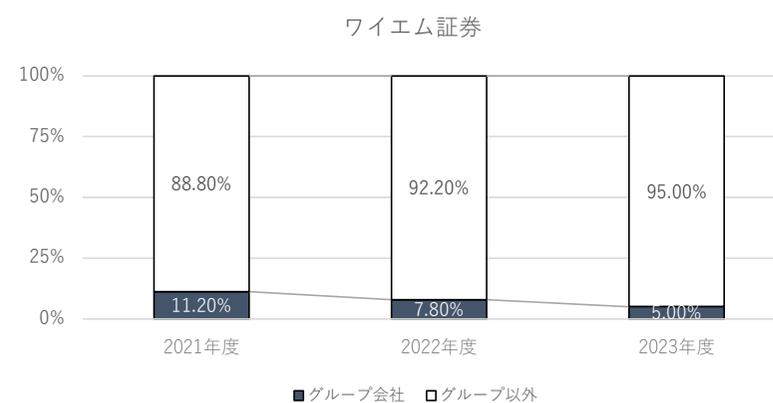
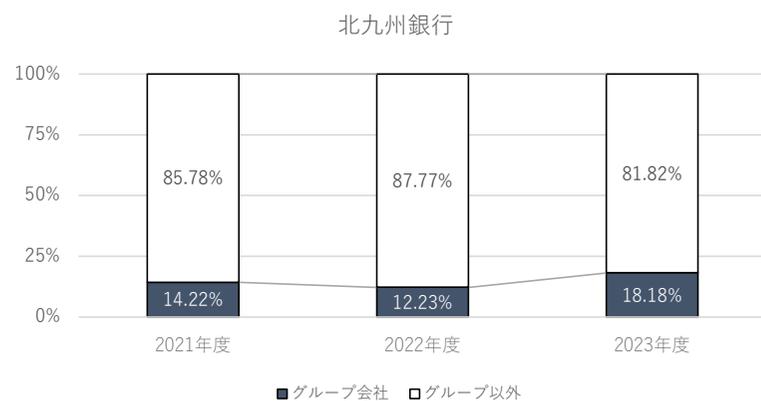
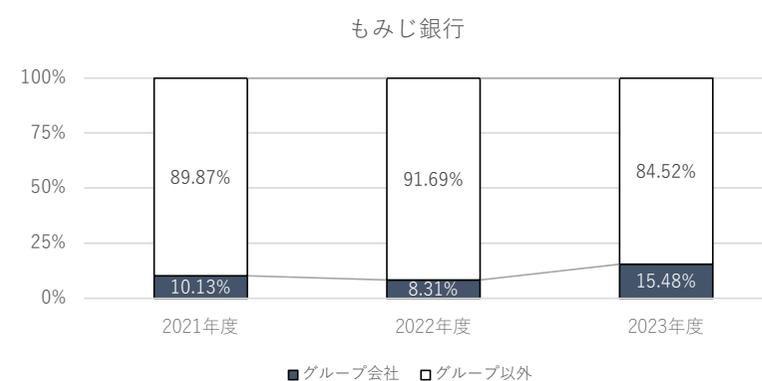
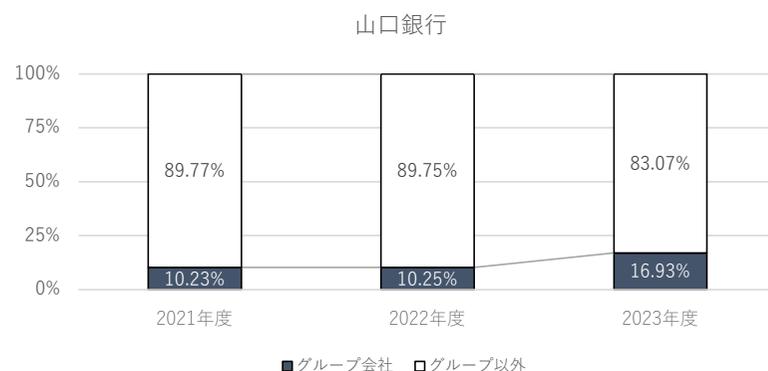
2. 投資信託に関する取組状況

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

⑥ グループ会社（ワイエムアセットマネジメント）の投資信託販売比率

- ▶ グループ会社の投資信託販売比率は全体の2割以下となっています。
今後も、グループ会社の商品に偏ることなく、お客さまのニーズに応じた商品提案を行ってまいります。



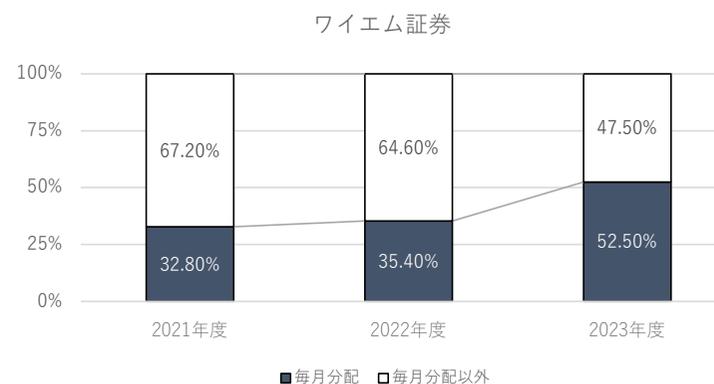
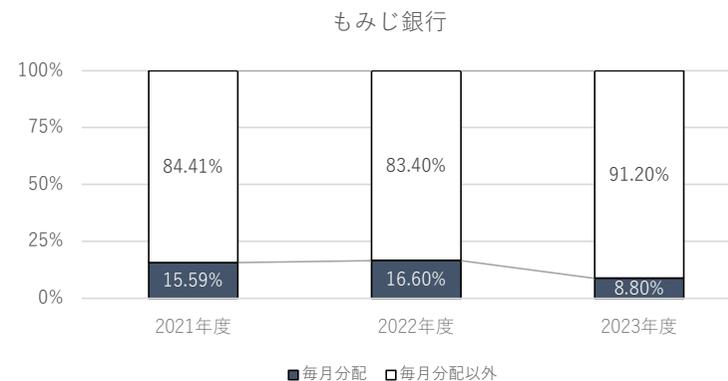
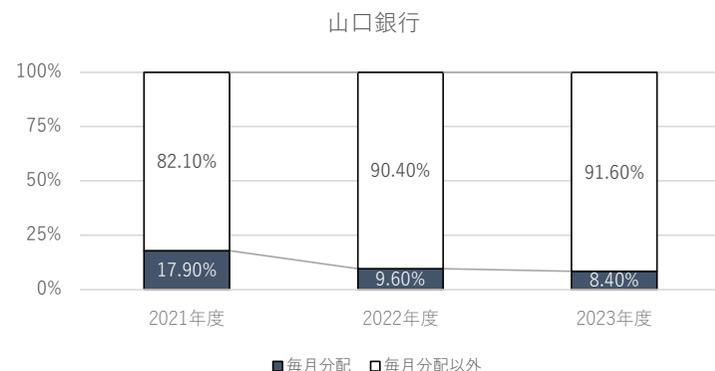
2. 投資信託に関する取組状況

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

⑦ 毎月分配型投資信託の販売比率

- 中長期的な資産成長のためにお客さまのニーズをお聞きしたうえで、分配金の受け取りを希望されないお客さまに対しては投資効率が低下しないよう、毎月分配型以外の投資信託を推奨しております。
- 分配金の受け取りを希望されるお客さまに対しては、分配金支払の仕組み等を十分にご説明しご理解いただいたうえで、ご購入いただくよう努めております。



3. 生命保険に関する取組状況

① 商品ラインアップ（一時払保険）

- ▶ お客さまのニーズにお応えできるよう、ラインアップの充実に努めてまいります。
- ▶ 商品ラインアップについては、お客さまのニーズ等を踏まえて随時見直すとともに、各種資料（パンフレットや契約締結前交付書面等）を用いた分かりやすい情報提供に努めてまいります。

事業体別・カテゴリ別ラインアップ（一時払保険、2024年3月末時点）

		山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行		保険ひろば	
		商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率
円建	変額年金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	定額年金	5	15.6%	5	15.6%	5	15.6%	0	0.0%
	終身	9	28.1%	9	28.1%	9	28.1%	0	0.0%
	合計	14	43.8%	14	43.8%	14	43.8%	0	0.0%
外貨建	変額年金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	定額年金	5	15.6%	5	15.6%	5	15.6%	0	0.0%
	終身	13	40.6%	13	40.6%	13	40.6%	3	100.0%
	合計	18	56.3%	18	56.3%	18	56.3%	3	100.0%
合計		32	100.0%	32	100.0%	32	100.0%	3	100.0%

※保険ひろばに関しては、推奨商品数を記載しております。

2. 生命保険に関する取組状況

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

② 商品ラインアップ（平準払保険）

- ▶ お客さまのニーズにお応えできるよう、ラインアップの充実に努めてまいります。
- ▶ 商品ラインアップについては、お客さまのニーズ等を踏まえて随時見直すとともに、各種資料（パンフレットや契約締結前交付書面等）を用いた分かりやすい情報提供に努めてまいります。

事業体別・カテゴリ別ラインアップ（平準払保険、2024年3月末時点）

	山口銀行		もみじ銀行		北九州銀行		保険ひろば	
	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率	商品数	比率
医療	9	21.4%	9	21.4%	9	21.4%	8	12.3%
ガン	5	11.9%	5	11.9%	5	11.9%	12	18.5%
収入保障 就業不能	2	4.8%	2	4.8%	2	4.8%	8	12.3%
年金	4	9.5%	4	9.5%	4	9.5%	4	6.2%
終身	3	7.1%	3	7.1%	3	7.1%	8	12.3%
変額	1	2.4%	1	2.4%	1	2.4%	18	27.7%
養老	3	7.1%	3	7.1%	3	7.1%	0	0.0%
定期	14	33.3%	14	33.3%	14	33.3%	5	7.7%
学資	1	2.4%	1	2.4%	1	2.4%	2	3.1%
合計	42	100.0%	42	100.0%	42	100.0%	65	100.0%

※保険ひろばに関しては、推奨商品数を記載しております。

3. 生命保険に関する取組状況

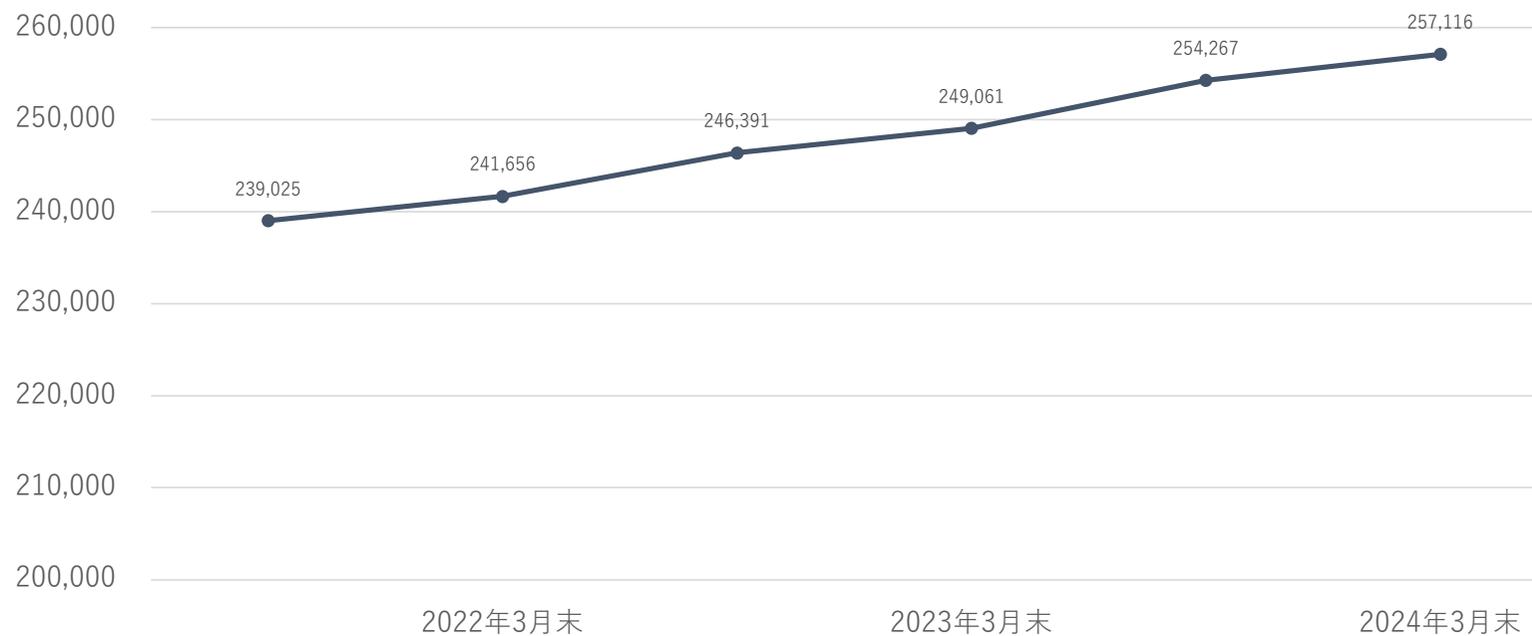
この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

② 生命保険保有契約件数（保険ひろば・ワイエムライフプランニング）

- 保険ひろばにおける生命保険契約件数は増加傾向にあります。
- ワイエムライフプランニングについては、2023年3月をもってすべての生命保険契約を保険ひろばに譲渡し、保険代理店業務を停止しております。

生命保険保有契約件数（保険ひろば）



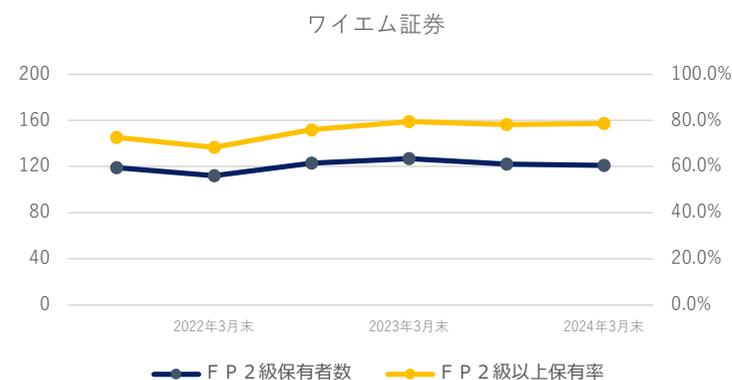
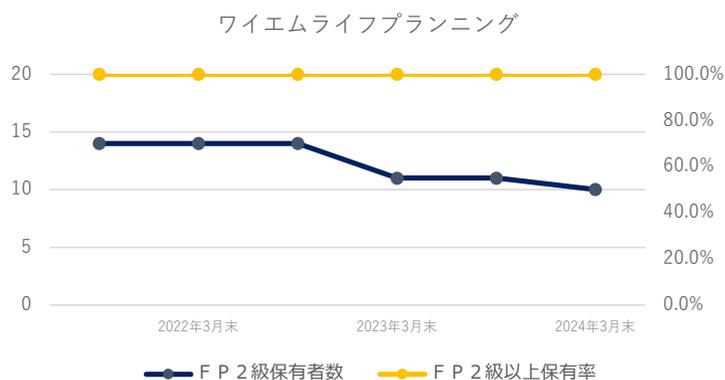
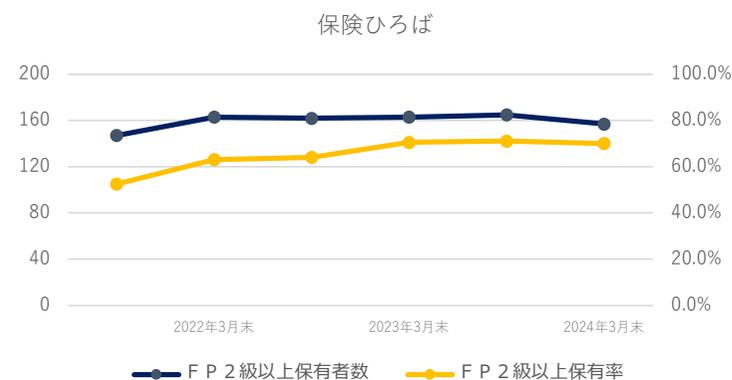
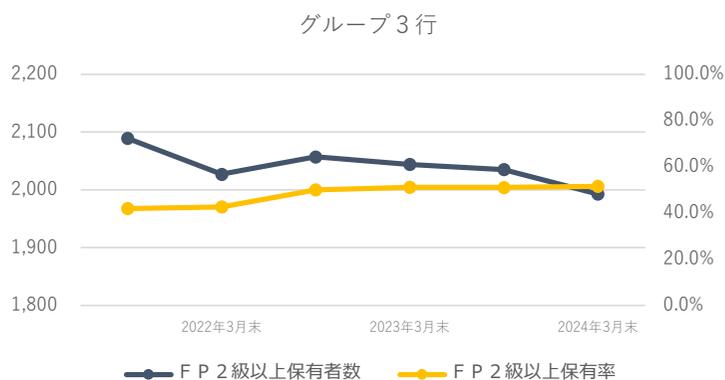
4. その他の取組状況

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

① FP資格保有者数・保有率

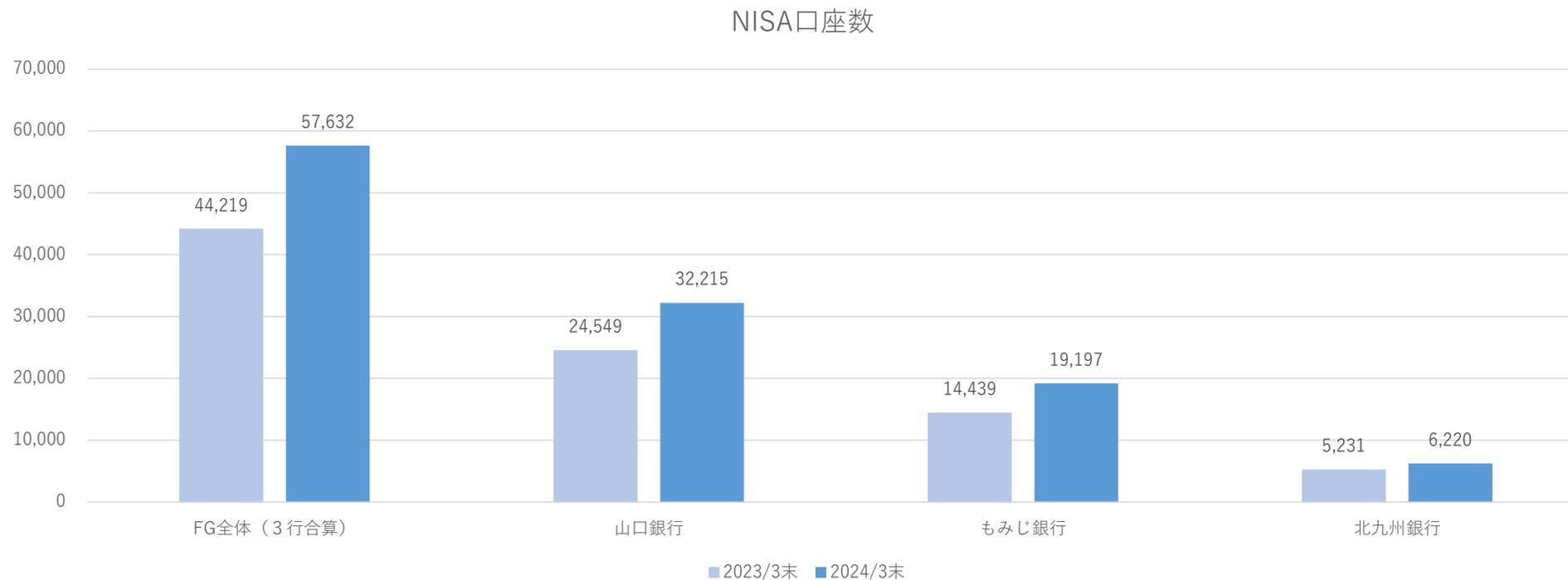
- 専門的な情報を分かりやすくお客さまに提供できる人財を育成するため、FP 1 級およびFP 2 級の資格取得を奨励しております。
- 職員の自己啓発につながる各種研修や勉強会、休日セミナーを実施するとともに、自己啓発ツールの活用促進により、保有者の更なる増加を図ってまいります。



4. その他の取組状況

② NISA口座開設数

- ▶ お客さまの資産形成にかかる基盤の確立として、NISA口座新規開設の獲得に力を入れて取り組んだ結果、口座数は2023年3月末比で約30%増加しています。
- ▶ 2023年6月以降は、お客さまの利便性向上を目的に、投資信託やNISA口座の開設を窓口にお越しいただくことなく、インターネットでお手続きが完結できるサービスを開始しております。



4. その他の取組状況

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

③ アフターフォロー実施状況

- ▶ 当社グループでは、投資信託や保険等の抽出条件に該当するお客さまに対して、担当者によるご面談・ご連絡、書面等を通じた定期的なアフターフォローにより、運用状況などの適時適切な情報提供を実施しており、実施率は100%となっております。
- ▶ お客さまと長期にわたって伴走できるよう、引き続きお客さまのライフプランや資産状況の変化等を確認のうえで、グループ各社においてアフターフォローを適切に行い、重要な情報の提供を行ってまいります。

投資信託	2021年度		2022年度		2023年度	
	対象先数	実施率	対象先数	実施率	対象先数	実施率
山口銀行	922	100%	949	100%	976	100%
もみじ銀行	817	100%	854	100%	769	100%
北九州銀行	132	100%	169	100%	193	100%
ワイエム証券	48,949	100%	41,417	100%	52,131	100%

生命保険	2021年度		2022年度		2023年度	
	対象先数	実施率	対象先数	実施率	対象先数	実施率
山口銀行	6,095	100%	5,701	100%	5,024	100%
もみじ銀行	4,809	100%	5,489	100%	4,160	100%
北九州銀行	484	100%	448	100%	404	100%
保険ひろば	104,593	100%	134,254	100%	142,141	100%
ワイエム ライフプランニング	519	100%	708	100%	すべての生命保険契約を保険ひろばに譲渡し、保険代理店業務を停止	

4. その他の取組状況

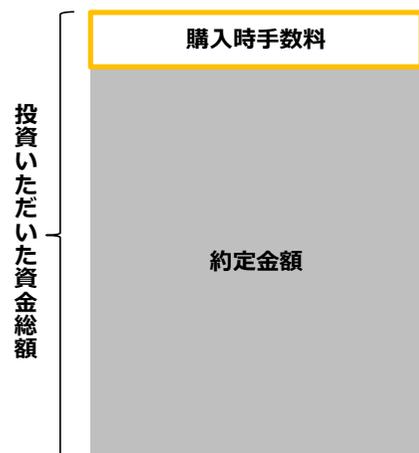
この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

④ 手数料に関するご説明

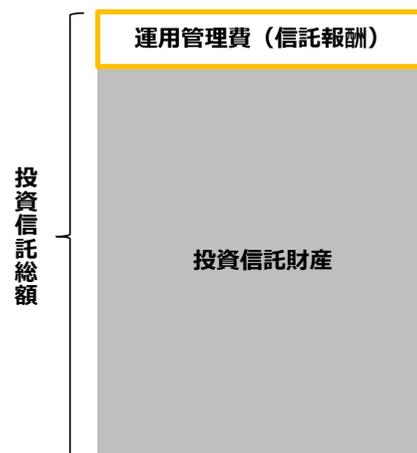
- ▶ 当社グループでは、個人のお客さま向け主要商品として投資信託・生命保険を取り扱っており、商品のご説明や事務手続きの対価として、手数料を頂戴しております。
- ▶ お客さまへのご提案の際に、各種手数料について重要情報シート等を用いた分かりやすい説明を行うよう努めてまいります。

投資信託（購入時）



※商品説明・事務手続きに伴う対価として、購入時に頂戴しております。

投資信託（運用中）

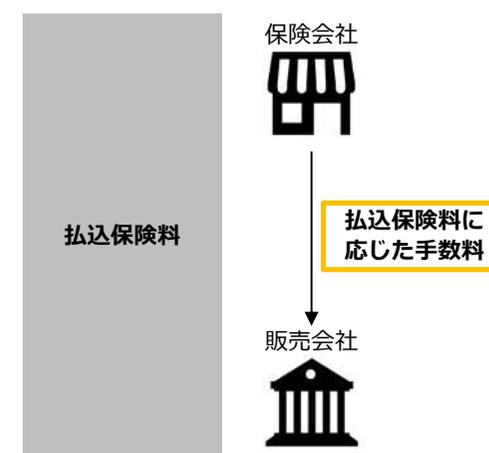


※運用管理に伴う対価として、あらかじめ定められた料率で日々計算され、投資信託財産から支払われます。

※信託報酬は「委託会社分」「販売会社分」「受託会社分」で構成されており、弊社グループが頂戴するものは「販売会社分」となります。

注) ワイエムアセットマネジメントは「委託会社分」となります

生命保険



※生命保険の場合、弊社グループがお客さまから直接手数料をいただくことはありません。

※保険商品や払込保険料・契約形態に応じた手数料を保険会社から頂戴しております。

4. その他の取組状況

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

⑤ 利益相反管理方針

▶ 当社グループにおける利益相反管理に関する対応方針として、内部規程である「利益相反管理規程」を公表しております。

1. 管理対象会社

グループ内銀行、グループ内銀行を所属銀行とする銀行代理業者および銀行関連業務・金融商品関連業務を行う当社グループ会社・関連会社とします。（以下、対象グループ会社）

2. 組織・管理態勢

山口フィナンシャルグループのコンプライアンス統括部を統括部署とし、統括部署の担当役員が利益相反管理統括責任者として、対象グループ会社の利益相反取引にかかる管理態勢を統括します。

3. 利益相反取引の定義および取引類型

利益相反取引とは、対象グループ会社とお客さまとの取引にあたりお客さまの利益を不当に害する取引、および対象グループ会社と複数のお客さまとの取引にあたりいずれかのお客さまの利益を不当に害する取引をいいます。お客さまの利益を不当に害する取引の類型は、次のとおりです。

取引類型	対象グループ会社とお客さま	お客さまと他のお客さま
利害対立型	対象グループ会社とお客さまの利害が対立する取引	対象グループ会社のお客さま同士の利害が対立する取引
競合取引型	対象グループ会社とお客さまが競合する取引	対象グループ会社のお客さま同士が競合する取引
情報利用型	対象グループ会社がお客さまとの関係を通じて取得したお客さまの情報を利用して、対象グループ会社が不当に利益を得る取引	対象グループ会社がお客さまとの関係を通じて取得したお客さまの情報を利用して、他のお客さまが不当に利益を得る取引

4. 管理プロセス

当社グループは、利益相反取引の未然防止を図るため、以下のとおり、適切な管理を実施します。

(1) 報告

対象グループ会社は、各社で発生したお客さまとの取引において利益相反のおそれがあると判断した場合は、遅滞なく統括部署に報告します。

(2) 特定

統括部署は、報告を受けた取引について、お客さまの利益を不当に害するか否かの観点から実質的に検討し、管理する必要のある取引を特定します。

(3) 管理方法

統括部署は、想定される利益相反の内容に応じて、次の管理方法を選定します。

1. お客さまとの取引を行う業務部門の情報遮断（情報共有先の制限）
2. お客さまとの取引の条件または方法の変更
3. お客さまとの取引の中止
4. 利益相反のおそれがあることのお客さまへの開示（お客さまの同意を必要とする場合があります）
5. その他お客さまの保護を適切に確保する方法

(4) 記録・保存

統括部署は、利益相反管理のプロセス（報告、特定および管理方法等）を適切に記録・保存します。

5. 教育・指導および改善活動

当社グループは、役職員に対して利益相反管理にかかる指導・研修等を継続的に実施し、利益相反管理にかかる意識の向上に努めます。

4. その他の取組状況

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

⑥ ご高齢のお客さまに対する募集

- ▶ 日本証券業協会が作成したガイドライン「高齢顧客に対する勧誘による販売について」に基づき、ご高齢のお客さまに対する募集については、より丁寧な意思確認等を行っております。
- ▶ ご高齢のお客さまに対して金融商品を提案・販売する場合は、複数回の面談やご家族の同席等をお願いするなど、より丁寧なご説明を行っております。

当社グループ銀行における主な対応（2024年3月末現在）

- ① 高齢者を70歳以上とし、80歳以上のお客さまに対してはより慎重な対応を行っております。
- ② 70歳以上80歳未満のお客さま
 - I. 勧誘留意商品（※）以外の募集を行う場合は、可能な限りご家族に同席いただくことで、より慎重な確認を行っております。また、注文の前後で役席者がお客さまに確認の電話を行い、申込内容をご理解いただいていることを確認しております。
 - II. 勧誘留意商品の募集を行う場合は、上記に加え、内部管理責任者による事前承認の前に面談等によって、役席者が適合性を確認しております。
- ③ 80歳以上のお客さま
 - I. 上記②に加え、原則としてご家族に同席いただくほか、勧誘留意商品の募集に関しては初回説明・勧誘の当日に募集・購入申込を受けることは原則不可とすることで、より慎重な意思確認を行っております。
 - II. 勧誘留意商品に関しては約定後、時間をおいて一週間以内に約定結果を通知のうえ、再度申込内容の理解度・取引を行ったことへの理解度を確認しております。

※勧誘留意商品・・・下記「勧誘可能な商品」として定めている商品以外の商品
「勧誘可能な商品」

- ①比較的変動が小さく、仕組みが複雑でなく、換金性が高い商品
 - ・国債等
 - ・公社債を中心に投資し安定的な運用を目指す投資信託
 - ・米ドル、ユーロ、豪ドル建て上記に相当する投資信託等
- ②周知性の高い商品、時々刻々価格が変動する商品
 - ・日経225やTOPIXに連動する投資信託等

（出所：日本証券業協会）

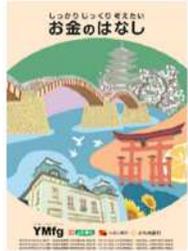
4. その他の取組状況

この世界で。
この街で。
このじぶん。
YMfg

⑧ ポートフォリオ提案ツール及びコンサルティング支援ツールの活用

- ▶ グループ3銀行及びワイエム証券において、ウエルスアドバイザー社が提供するポートフォリオ提案ツール「Wealth Advisor」を活用し、お客さまの保有資産の見える化や投資目的、リスク許容度等に応じたポートフォリオ作成、リバランス提案を行っております。
- ▶ グループ3銀行では、情報提供資料およびニーズに応じた全5分野のコンサルティング支援ツールを作成し、お客さまのご意向の確認や情報提供、コンサルティング提案に役立てるツールとして活用しております。

<ご参考>
情報提供資料
『しっかりじっくり
考えたいお金のはなし』



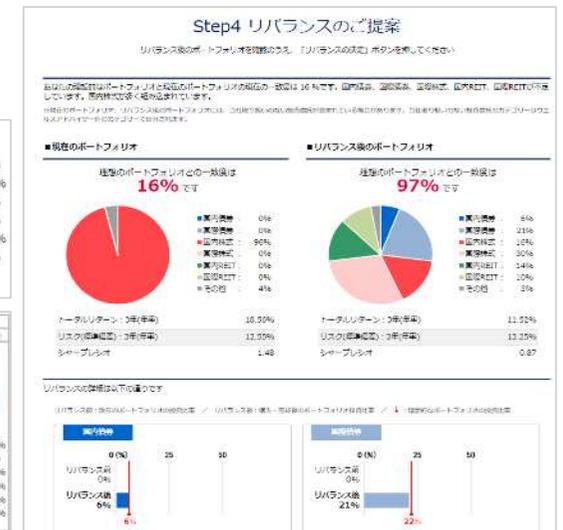
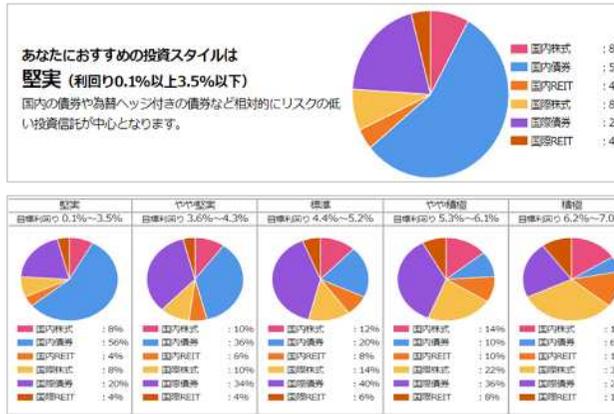
<ご参考>
情報提供資料
『FPコンサルティングシート (全5分野)』



<ご参考> 『しっかりじっくり考えたいお金のはなし』より一部抜粋



<ご参考> Wealth Advisorより一部抜粋



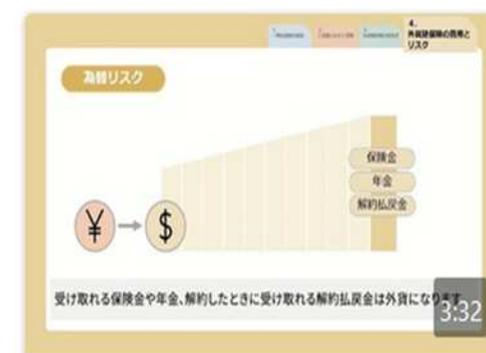
4. その他の取組状況

⑨ 一時払保険補完説明動画の活用

- ▶ 一時払保険を提案する場合は、保険会社所定の「契約締結前交付書面（契約概要・注意喚起情報）」による契約概要および注意喚起情報の説明に加え、「一時払保険補完説明動画」をお客さまに視聴いただき、下記の点を理解されているかを再度確認することを徹底しています。

	掲載内容
①	一時払保険の機能について
②	ご負担いただく費用
③	中途解約時の留意点
④	外貨建保険の費用とリスク（外貨建を検討されている場合のみ）

（ご参考）動画イメージ



⑩ お客様本位の業務運営に関するアクションプラン

- ▶ お客様本位の業務運営に関するアクションプランを年度毎に策定し、進捗状況をモニタリングしております。
- ▶ 弊社グループ銀行の2024年度アクションプランは、下記のとおりです。（銀行以外に関しては、各社HPをご参照ください）

1. ポートフォリオ提案の浸透

- ・ お客様のリスク許容度や資産状況等を確認のうえ、ポートフォリオ分析ツール等を活用して、複数商品を比較提示し、最も適した投資プランを提案します。

2. 商品ラインアップの整備

- ・ グループ会社の商品に関係なく、幅広い運用会社や保険会社等が取扱う商品から、お客様の資産形成に資するラインアップを整備します。
- ・ お客様のご意見やパフォーマンス実績、外部機関の評価をもとに、定期的にラインアップの見直しを行います。

3. 資産管理伴走体制の構築

- ・ お客様との定期面談を通じて、ポートフォリオの運用状況の検証・必要に応じたリバランス提案や他ニーズの発掘等を行い、お客様との長期伴走関係を築きます。

4. アフターフォロー体制および管理態勢の整備

- ・ お客様の意向のみでなく、プロフェッショナルとして提案するよう、関連各部による指導を実施します。
- ・ お客様に応じたアフターフォロー体制を整備し、迅速かつきめ細やかなフォローを行います。

5. グループ連携力の強化

- ・ お客様それぞれの特性に応じて、「ワイエム証券」や「保険ひろば」と連携し、最適な商品・サービスの提供を行います。

6. 人材育成・評価体系の整備

- ・ お客様に対するコンサルティング手法を組織知化することで、商品提案・説明力を強化します。
- ・ 担当者の知識・コンサルティングスキルを可視化し、研修の多様化や高度化を図ります。
- ・ 納得感のある社内資格制度に改定し、スキルアップのモチベーションを高めます。

7. 金融リテラシー向上にかかる活動の実践

- ・ 地域の方々の金融リテラシー向上のため、金融経済教育・投資教育の支援を行います。

4. その他の取組状況

この世界で。
この街で。
このじぶん。

YMfg

⑪ リスク性金融商品に関する販売の方針

- ▶ 仕組債については、お客さまの中長期的な資産形成に資する商品性ではないと判断し、2022年10月より当社グループ各社において販売を停止しております。

商品	社内ルール
仕組債	当社グループ各社において販売を停止する。
ファンドラップ	以下を説明し、内容を記録する。 ①投資信託の信託報酬に加えて、ファンドラップ特有のコストが発生すること ②バランスファンドとの機能・コスト面での違い
新興国通貨建債券	以下を説明し、内容を記録する。 ①対象通貨の長期為替チャート ②円決済の場合、対象通貨の為替手数料および円換算での利回り ③リスク性金融資産のうち、新興国通貨建債券の割合が20%超となる場合、その妥当性
外貨建一時払保険	以下を説明し、内容を記録する。 ①運用目的の場合、外国債券で運用した場合と比較した利回り ②損益分岐点為替レート ③リスク性金融資産のうち、為替リスクを内包する資産の割合が30%超となる場合、その妥当性
仕組預金	①個人のお客さまについて、過去に経験がある方のみとする。 ②お客さまの収益と比較し、当社の手数料が過大にならないよう手数料水準を設定する。